

教育に関する事務の点検及び評価報告書
(平成23年度事業分)

平成24年9月

葛城市教育委員会

目 次

	はじめに.....	1
1.	教育に関する事務の点検及び評価の実施方針について.....	2
2.	教育に関する事務の点検及び評価について.....	2
3.	教育委員会点検・評価に関する有識者の概要.....	4
4.	教育委員会の運営及び活動状況.....	5
5.	葛城市総合計画に基づく政策体系について.....	9

【平成23年度主要事業】

事業 No. 1	小・中学校地震補強・大規模改造工事.....	1 1
事業 No. 2	相談（来室・訪問）事業・研修支援.....	1 3
事業 No. 3	適応指導教室.....	1 5
事業 No. 4	スクールカウンセラー（SC）.....	1 7
事業 No. 5	学校給食事業.....	1 9
事業 No. 6	図書館主催講座等事業.....	2 1
事業 No. 7	葛城歌壇短歌募集事業.....	2 3
事業 No. 8	ブックスタート事業.....	2 5
事業 No. 9	公園まつり実行委員会業務.....	2 7
事業 No. 10	成人式.....	2 9
事業 No. 11	人材バンク業務.....	3 1
事業 No. 12	青少年健全育成.....	3 3
事業 No. 13	分館モデル地区.....	3 5
事業 No. 14	生涯学習まちづくり推進大会.....	3 7
事業 No. 15	子ども・若者育成支援事業.....	3 9
事業 No. 16	地区館教室・講座事業.....	4 1
事業 No. 17	文化振興事業.....	4 3
事業 No. 18	中央公民館（當麻文化会館）主催生涯学習.....	4 5

事業 No. 19	展示（常設展・特別展等）事業.....	4 7
事業 No. 20	歴史講座開催事業.....	4 9
事業 No. 21	埋蔵文化財保存事業.....	5 1
事業 No. 22	文化財保存事業.....	5 3
事業 No. 23	各種教室開催事業.....	5 5
事業 No. 24	各種スポーツ大会等開催事業.....	5 7
事業 No. 25	体育施設の運営事業.....	5 9
6.	点検及び評価のまとめ.....	6 1

はじめに

教育委員会は首長から独立した合議制の組織であり、同委員会が自ら立てた教育行政の基本方針に基づき、教育に係る広範かつ専門的な事務を確実に実施することが求められます。

平成20年4月より施行された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正で、各教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について自己点検及び評価を行い、その結果を議会に提出するとともに公表することが義務づけられました。

本市教育委員会におきましても、前年度評価の実施後、本年度の評価について改めて評価対象や評価方法に係る議論を重ね、その上で担当課ごとに自己評価に取り組みました。5月・6月には、法に定められた「教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図る」ために設置された「葛城市教育委員会点検・評価に関する有識者」により、各事業実務担当者に対するヒアリングを実施し、各事業についてご意見をいただきました。

有識者のご意見を受けて再度担当課ごとに来年度以降の事業方針を決定し、最後に教育委員より評価の総評をいただきました。

この報告書は、以上の成果を「教育に関する事務の点検及び評価報告書」としてまとめたものです。

1. 教育に関する事務の点検及び評価の実施方針について

(1) 趣旨

葛城市教育委員会は、毎年、主要な施策や事務事業の取組状況について点検及び評価を行い、課題や取組の方向性を明らかにすることにより、効果的な教育行政の一層の推進を図る。

また、点検及び評価の結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに公表することにより、市民への説明責任を果たし、市民に信頼される教育行政を推進する。

(2) 実施方法

- 1) 葛城市教育委員会の主要施策を対象として点検及び評価を行う。
- 2) 点検及び評価は、前年度の施策・事業の進捗状況を総括するとともに、課題や今後の取組の方向を示すものとし、毎年1回実施する。
- 3) 施策・事業の進捗状況等を取りまとめ、有識者の意見を聴取した上で、教育委員会において点検及び評価を行う。
- 4) 教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、「葛城市教育委員会点検・評価に関する有識者」を置く。
 (「葛城市教育委員会点検・評価に関する有識者」は、教育に関し学識経験を有する者の中から、教育委員会が委嘱する。)
- 5) 教育委員会において点検及び評価を行った後、その結果をとりまとめた報告書を市議会へ提出する。また、報告書は公表するものとする。

2. 教育に関する事務の点検及び評価について

(1) 評価の対象

評価の対象は前年度の施策・事業（今回は平成23年度事務執行分）とし、葛城市教育委員会所管の学校教育・社会教育それぞれの分野の施策に関して、評価を実施しました。

(2) 今年度の点検及び評価の流れ

まず、主要事業ごとに教育委員会事務局自らがそれぞれの事業のコスト及び成果等について自己評価を行いました（教育委員会事業評価シート（計画）・（実施内容）・（評価）各欄）。その後、事務局評価の客観性を確保するため、作成した評価シート及び各課への有識者ヒアリングをもとに、有識者より様々なご意見をいただきました（教育委員会事業評価シート（有識者意見）欄）。事務局はそれらのご意見を受けて、来年度以降の事業方針を決定しました（教育委員会事業評価シート（方向性）各欄）。

最後に、これらすべてについて教育委員よりご意見をいただきました（点検及び評価のまとめ）。

(3) 点検・評価の経緯

①平成23年度 3月定例教育委員会会議（平成24年3月16日開催）

教育に関する事務の点検及び評価の公表・年度計画について協議決定するとともに、事務の点検及び評価を行う様式及び評価事業の決定を行いました。

②教育に関する事務の点検及び評価 有識者ヒアリング

（平成24年5月31日～平成24年6月4日開催）

事業評価について、各事務担当より意見聴取を行いました。

③平成24年度 6月定例教育委員会会議（平成24年6月12日）

教育に関する事務の点検及び事業評価について協議しました。

④平成24年度 7月定例教育委員会会議（平成24年7月17日開催）

教育に関する事務の点検及び事業評価について協議しました。

⑤平成24年度 8月定例教育委員会会議（平成24年8月21日開催）

教育に関する事務の点検及び評価報告書を決定しました。

⑥「教育に関する事務の点検及び評価報告書」を葛城市議会議長に提出します。

（平成24年9月提出予定）

(4) 各事業の方向性

平成23年度主要施策における来年度以降の方向性について、集計結果は以下のとおりです。

事業の方向性	件数
さらに重点化する	8件
現状のまま継続する	10件
見直しのうえ継続する	7件
事業の縮小を検討する	0件
休止、廃止を検討する	0件
終了・完了	0件

(主要施策ごとの評価は、P11～P60に掲載)

3. 教育委員会点検・評価に関する有識者の概要

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条に基づき、葛城市教育委員会が行った事務の管理及び執行の状況についての自己点検及び評価に対する意見をいただくため、平成24年4月1日(任期3年)に、葛城市教育委員会点検・評価に関する有識者を委嘱しました。

有識者は、次の方に委嘱しました。

仲田博則(葛城市固定資産評価審査委員)

岡島久子(元小学校校長、葛城市学校評議委員)

(主要施策ごとの意見は、P11～P60に掲載)

4. 教育委員会の運営及び活動状況

(1) 教育委員会委員について

教育委員会委員は下表のとおりです。(平成23年12月21日 現在)

職名	氏名	備考
委員長	和田 治	
委員長職務代理者	谷口 房子	
委員	川村 泰男	
委員	堀内 忠樹	
教育長	大西 正親	

(2) 教育委員会議及び審議状況について

平成23年度は合計で13回の委員会を開催し、審議事項25件、協議報告事項25件について審議・協議を行いました。内容は、下表のとおりです。

開催日	審議事項	協議報告事項
4月19日	<ul style="list-style-type: none"> 平成23年度中学校教科用図書選定委員 調査研究委員委嘱について 	<ul style="list-style-type: none"> 平成23年度学校・幼稚園教育課程について
5月23日	なし	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援学級教育課程について 葛城市教育委員会後援名義の使用について
6月14日	<ul style="list-style-type: none"> 葛城市社会教育委員・公民館運営審議会委員の委嘱について 平成23年度一般会計補正予算に対する意見聴取について 	<ul style="list-style-type: none"> 葛城市教育委員会後援名義・共催名義の使用について
7月26日	なし	<ul style="list-style-type: none"> 葛城市教育委員会作文募集について 平成23年度教育に関する事務の点検及び評価の状況について 葛城市教育委員会後援名義の使用について

開催日	審議事項	協議報告事項
8月23日	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度以降使用の中学校教科用図書の採択について 平成23年度一般会計補正予算に対する意見聴取について 	<ul style="list-style-type: none"> 平成23年度教育に関する事務の点検及び評価について 葛城市教育委員会後援名義の使用について
9月18日	なし	<ul style="list-style-type: none"> 葛城市教育委員会後援名義の使用について
10月25日	なし	<ul style="list-style-type: none"> 成人式について 葛城市教育委員会後援名義の使用について
11月15日	<ul style="list-style-type: none"> 平成23年度一般会計補正予算に対する意見聴取について 	<ul style="list-style-type: none"> 議会選出各種委員の委嘱について 葛城市教育委員会後援名義の使用について
12月20日	<ul style="list-style-type: none"> 葛城市教育委員会委員長の選挙について 葛城市教育委員会委員長職務代理者の指定について 	<ul style="list-style-type: none"> 学校給食運営委員会委員の推薦について 教職員人事ヒアリングの日程について 葛城市教育委員会作文の選考について 葛城市教育委員会後援名義の使用について
1月17日	<ul style="list-style-type: none"> 葛城市スポーツ推進委員に関する規則について 葛城市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について 葛城市暴力団排除条例の施行に伴う関係教育委員会規則の整備に関する規則について 葛城市学校教育法施行細則の一部を改正する細則について 	<ul style="list-style-type: none"> 葛城市教育委員会作文の選定について 葛城市学校給食運営委員会委員の委嘱について

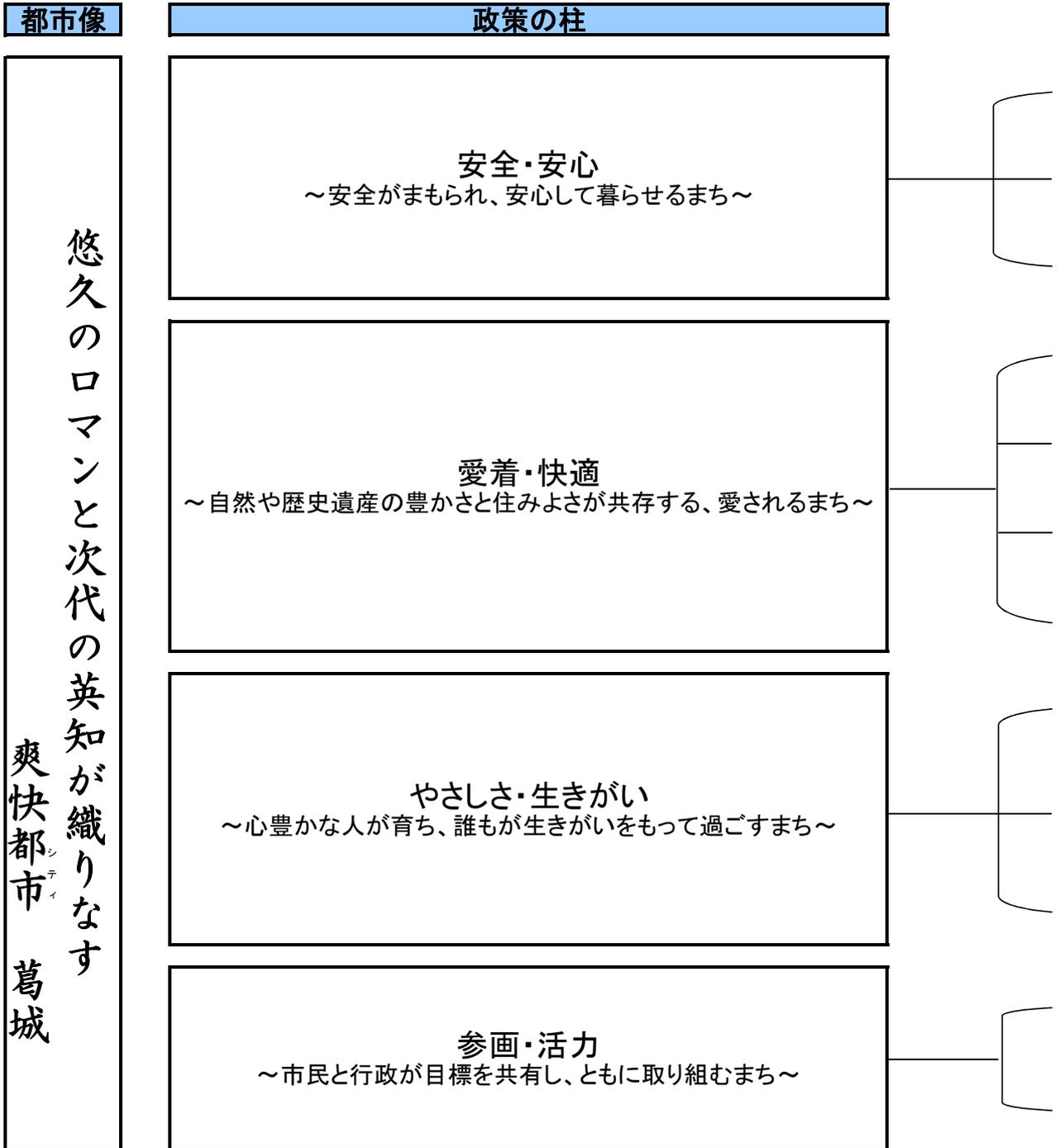
開催日	審議事項	協議報告事項
2月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度一般会計予算に対する意見聴取について ・平成24年度学校給食特別会計予算に対する意見聴取について ・平成23年度一般会計補正予算に対する意見聴取について ・平成23年度学校給食特別会計補正予算に対する意見聴取について ・葛城市公民館条例の一部を改正する条例に対する意見聴取について ・葛城市歴史博物館条例の一部を改正する条例に対する意見聴取について ・葛城市歴史博物館条例施行規則の一部を改正する規則について ・葛城市公園まつり企画運営委員会設置要綱の一部を改正する要綱について ・葛城市公園まつり実行委員会設置要綱の一部を改正する要綱について ・葛城市教育委員会事務局決裁規程の一部を改正する規程について ・葛城市教育委員会日々雇用職員雇用要綱の一部を改正する要綱について 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育方針について ・市内小・中学校の卒業式・入学式について
3月16日	<ul style="list-style-type: none"> ・葛城市学校歯科医の委嘱について ・葛城市教育委員会事務局決裁規程の一部を改正する規程について 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度教育に関する事務の点検及び評価について ・葛城市後援名義の使用について
3月30日	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・人事について

(3) 教育委員会会議以外の活動について

市内外の各種行事や研修等に参加しました。主な内容は、以下のとおりです。

- ・各幼稚園、小・中学校入学式（4月7日～11日）
- ・奈良県市町村教育委員会連合会会議（5月11日）
- ・葛城市立学校新着任者研修会（7月29日）
- ・市民体育祭（9月18日）
- ・各幼稚園、小・中学校運動会（9月24日～10月5日）
- ・平成23年度近畿市町村教育委員研修大会（10月12日）
- ・各小・中学校訪問（11月7日～11月15日）
- ・各幼稚園訪問（11月17日～11月21日）
- ・平成23年度奈良県市町村教育委員研修会（11月14日）
- ・葛城市駅伝・マラソン大会（1月8日）
- ・成人式（1月9日）
- ・教職員人事ヒアリング（1月24日～1月26日）
- ・生涯学習まちづくり推進大会（2月19日）
- ・各幼稚園、小・中学校卒業式（3月15日～17日）

5. 葛城市総合計画に基づく政策体系について
葛城市総合計画については以下のとおりです。



政策目標	施策目標
犯罪・災害に対する安全性の向上	犯罪から市民をまもり安全性を高める 自然災害や火災等に対する安心感を高める
事故や病気に対する安心感の向上	安心して救急医療サービスが受けられるようにする 交通事故を減らし、安全に対する意識を高める
社会生活の安全性の向上	食に対する安心感を高める 消費生活や個人情報の安全をまもる
良好な自然・地域環境のブランド化	良好な自然と地域環境を保全し、活用する 循環型社会への取組を高めるとともにモラルを向上させる
歴史・文化の保全・継承と交流の促進	歴史遺産をまもり、来訪者を増やす 伝統文化を継承するとともに新たな文化・交流を生み出す
日常生活の利便性・快適性の向上	駅前整備や道路など日常生活の利便性を高める 憩いや散策の場が身近にあり、快適性を高める
地域産業の振興と担い手の育成	農業をはじめ第1次産業の担い手を育てる 特産品や技術を生み出し、地域産業を活性化する
子育てと生きがいの両立	地域で支えあいながら、楽しく子育てができるようにする 子育てと仕事が両立できるようにする
学校教育や生涯学習による心豊かな人づくり	互いの人権を尊重し、思いやりのある心と健全な精神を育てる 必要な知識や能力を身につけられるようにする 芸術文化活動やスポーツ活動などを活発にする
いきいきとした生活と社会参加の促進	病気にかからず、介護を必要としないよう、心身の健康を保つ 高齢者や障害者の方が安心して生活できるようにする
市民参画による協働のまちづくりの推進	地域コミュニティ・団体を育てる 市民や事業者の考えや提案をまちづくりに活かす
効果的な行財政運営	経費の削減と独自財源の確保による財政基盤を強化する 職員の能力を高め、アイデアを政策に反映させる 目標に応じた効果的なサービス等の提供を行う

※網掛け部は今回の教育委員会評価対象事業において目標とされている施策です。

教育委員会事業評価シート

		事業No.	1
事務事業名	小・中学校地震補強・大規模改造工事	担当課名	教育総務課
係 名	施設係	施 設 名	新庄小学校、磐城小学校

(計 画)

総合計画上の 位置付け	政策の柱	安全・安心～安全がまもられ、安心して暮らせるまち～		
	政策目標	犯罪・災害に対する安全性の向上		
	施策目標	自然災害や火災等に対する安心感を高める		
事業の目的	教育施設の耐震性を高め、児童・生徒の安全を確保する。			
事業の内容	新市建設計画に基づく小・中学校地震補強・大規模改造工事を、平成23年度は新庄小学校及び磐城小学校について実施した。新庄小学校工事はRC造・2階建・延床面積837㎡の校舎について、RCブレース補強1箇所、RC壁増設1箇所の地震補強工事、外装改修、内装改修等の大規模改造工事を施工した。また、磐城小学校工事については、RC造・3階建・延床面積1,987㎡で、RCブレース補強15箇所の地震補強工事、外装改修、内装改修等の大規模改造工事を施工した。			
事業対象	小学校の校舎			
事業年度	<input type="checkbox"/>	区分指定無	<input checked="" type="checkbox"/>	平成 23年度 ～ 平成 23年度 間

(実施内容)

		区 分		平成22年度決算	平成23年度決算	平成24年度予算
事業コスト		事業費 ① (千円)		317,827	258,731	484,685
		内一般財源(千円)		133,085	162,994	399,305
		内国・県補助金(千円)		184,742	95,737	85,380
		内受益者負担(千円)		0	0	0
		人件費 ② (千円)		7,878	7,842	7,842
		総コスト①+②(千円)		325,705	266,573	492,527
実績と 成 果	事業 実績	区 分	単 位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度(目標)
		耐震改修棟	棟	2	2	2
	事業 成果	耐震化率	%	87.2	91.5	95.7

(評価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分貢献している	<input type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	A	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	本工事の施工により校舎の安全性がより向上し、児童が安心して学業に取り組める環境づくりに貢献できた。また、小中学校施設の耐震化率は、今回の事業実施により平成23年4月時点の87.2%から平成23年度末には91.5%に上昇した。このことは葛城市ホームページで「学校等施設の耐震状況」として公表している。			
事業の課題・問題点	耐震性の向上については、新市建設計画に基づく学校整備で毎年度2校ずつ耐震改修を実施しており、平成22年度末に耐震診断で特に危険度が高い数値が出た校舎については全校の耐震改修が終了している。しかし、耐震化率100%を目指して引き続きその他の校舎等について耐震改修が必要とされる。 また、耐震診断以外の各種建築物あるいは設備等についても点検管理を徹底し、安全で安心できる学校環境づくりに努めてまいりたい。			

(有識者意見)

有識者意見	新市建設計画に則り平成26年まで地震補強工事等を進めるという事業について順調に推移している。今後も工事期間、施工内容の検認に万全を期していただきたい。 施設・設備の安全を確保し安心して学べる環境を整えていくとともに、地域住民の緊急避難場所でもある学校の耐震化率の早期100%実現をお願いしたい。
-------	--

(方向性)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 (課題・有識者意見を踏まえての担当課意見、数値目標等)	耐震診断により地震補強が必要とされた校舎等について、平成24年度以降も引き続いて地震補強工事を行い、平成26年度末までに耐震化率100%となるよう努めて参りたい。 また、地震補強工事と併せて大規模改造工事を行うことで、限られた予算を最大限に活かし、効率的に実施できると考える。これからも施設・設備の安全確保を図り、安心して学べる学校環境を整えていきたい。 さらに、その他の各種建築物あるいは設備についても徹底した点検管理を継続し、安全で安心できる学校環境を維持していく。	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	2
事務事業名	相談（来室・訪問）事業・研修支援	担当課名	学校教育課
係 名	教育相談室	施 設 名	教育相談室

(計 画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	やさしさ・生きがい～心豊かな人が育ち、誰もが生きがいをもって過ごすまち～		
	政策目標	学校教育や生涯学習による心豊かな人づくり		
	施策目標	互いの人権を尊重し、思いやりのある心と健全な精神を育てる		
事業の目的	子育て・教育についての相談に応じ、その解決を図る。			
事業の内容	不登校をはじめ学校生活上の諸問題について保護者や教員（ときには児童・生徒）の相談に応じ、その解決に向けて指導助言を行う。また、園児・児童・生徒の発達や成長についての相談に応じ、保護者へのカウンセリングや教員へのコンサルテーションを行う。			
事業対象	市内の幼稚園・小・中学校の園児・児童・生徒とその保護者、市立園・校の教員。			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

事業コスト	区 分		平成22年度決算	平成23年度決算	平成24年度予算	
	事業費 ① (千円)		125	136	197	
	内一般財源(千円)		125	136	197	
	内国・県補助金(千円)		0	0	0	
	内受益者負担(千円)		0	0	0	
	人件費 ② (千円)		6,551	7,215	7,442	
	総コスト①+②(千円)		6,676	7,351	7,639	
実績と成果	区 分		平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度(目標)	
	事業実績	電話・来室相談 (件数)	回	457 (70)	172 (56)	250 (60)
		巡回相談	件	256	252	260
	事業成果	問題行動回避・防止	%	56	52	50
		問題状況改善・解決	%	44	48	50

(評価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分貢献している	<input type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	B	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	<p>幼児・義務教育期から子どもや保護者に寄り添い、悩みや不安を受けとめ適切な示唆を与えることが、不登校や問題行動等を回避するうえで大きな意味をもつ。また、障害受容を早い時期から適切に促し支援することにより、保護者や教員のきめ細やかな教育が展開でき、不登校や引きこもりを未然に防ぐことができる。</p> <p>平成21年度より、幼稚園児・未就園児の子育て・発達の相談担当者(臨床発達心理士)が幼稚園を巡回する回数を月1回増やした。保護者や教員のニーズが高く、相談・観察・検査等に相当の時間を要するためである。これにより、相談待ちが解消されつつある。</p> <p>平成23年度も、前年度に引き続き市内在住で軽度発達障害が認められる児童の療育キャンプを実施した。参加は児童4名、保護者2名、指導者4名、支援員10名で、国立曽爾青少年自然の家に1泊2日で出かけた。児童は2日間で情緒・行動の安定が、保護者は「待つ」姿勢や子どものよさを認める姿勢が培われるとともに、互いの連帯感が生まれた。</p> <p>事業成果の問題行動・状況を回避・防止・改善・解決できた割合は、一定の成果であると考えている。</p>			
事業の課題・問題点	現在の教育相談室は適応指導教室と同じ建物内にあり、教室に通う児童・生徒を気にしながら電話相談や来室相談に応じている。プライバシー保護の観点から、施設の改修を図る必要がある。			

(有識者意見)

有識者意見	<p>軽度発達障害が増加傾向にあり、保護者や教員の子育て・発達相談のニーズも高まっている。臨床発達心理士による巡回相談は子どもたちは勿論、相談室へ足を運びにくい保護者にとっても素晴らしい事業である。</p> <p>問題点とされている施設改修は容易と思われるので、至急実施されるよう努力いただきたい。</p>
-------	---

(方向性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(課題・有識者意見を踏まえての担当課意見、数値目標等)</small>	<p>療育キャンプについては、今後も工夫を重ねながら継続実施していく。</p> <p>来室・電話相談に際して相談内容を守秘するため、施設改修だけを模索するのではなく、他施設の活用をも視野に入れながら検討してまいりたい。</p>	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	3
事務事業名	適応指導教室	担当課名	学校教育課
係 名	教育相談室	施 設 名	教育相談室

(計 画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	やさしさ・生きがい～心豊かな人が育ち、誰もが生きがいをもって過ごすまち～		
	政策目標	学校教育や生涯学習による心豊かな人づくり		
	施策目標	必要な知識や能力を身につけられるようにする		
事業の目的	不登校児童・生徒1人1人に即した支援を行い、学校復帰を目指すとともに、学校不適応が社会不適応につながらないようにする。			
事業の内容	不登校児童・生徒を対象に個別カウンセリングや個別教科学習、集団活動、スポーツ活動等を行い、学力の保障を図るとともに、児童・生徒の自立心や社会性、協調性を育て、のびのびとした発達・成長を促す。			
事業対象	市内の小・中学生			
事業年度	■	区分指定無	□	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

事業コスト	区 分		平成22年度決算	平成23年度決算	平成24年度予算	
	事業費 ① (千円)		95	223	223	
	内一般財源(千円)		95	223	223	
	内国・県補助金(千円)		700	0	0	
	内受益者負担(千円)		0	0	0	
	人件費 ② (千円)		6,592	6,515	6,515	
	総コスト①+②(千円)		6,687	6,738	6,738	
実績と成果	区 分		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度(目標)
	事業実績	入室人数	人	13(4)	9(5)	15(6)
		※入室人数については、在籍者数(その年度の入室者数)				
		学校復帰数	人	1	2	3
	事業成果	高校等進学率	%	100	100	100
		出席率	%	小42.5、中58.3	中50	小50、中50

(評価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分貢献している	<input type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	B	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	<p>平成23年度入室者数は、新庄中学校区(中学生2名、小学生なし)、白鳳中学校区(中学生7名、小学生なし)だった。新庄地区の児童・生徒8名の入室があった前年度に比べ、平成23年度は様相が逆転した。といて、新庄中学校の不登校傾向生徒が激減したわけではないため、今後も粘り強く入室につながるよう努めたい。また、新庄中学校区の小学生も必要に応じて入室するよう促す必要がある。</p> <p>出席率は50%程度であるが、学校復帰をした場合はこの出席率が低下するわけで、出席率の読み方そのものを慎重に行う必要がある。適応指導教室に通いながら学校復帰する生徒も出る可能性があるため、出席率50%は妥当なところと考えられる。</p> <p>昨年度に引き続き、社会見学や体験学習を実施した(信貴山のどか村、国立少年自然の家1泊2日)。見学地での新鮮な驚きや感動、集団行動の大切さの自覚等々貴重な学習の機会であると認められる。</p> <p>平成23年度より、2ヶ月ごとに各小・中学校より不登校傾向が認められる児童生徒の記録を提出願ひ、それを通して各学校に不登校防止の自覚を促すとともに、取組を客観的に分析検討する機会とした。学校が不登校をできる限り防止すること、自らの取組の適否を客観的に検討する機会となっている。</p>			
事業の課題・問題点	<p>中学生の不登校は、小学校時代にその萌芽が認められる場合が少なくない。前述した2ヶ月ごとの不登校傾向児童生徒の調査の分析をはじめとして、適応指導教室として何ができるかを今後検討し、実施していく必要がある。</p>			

(有識者意見)

有識者意見	<p>平成23年度から開始された不登校傾向児童生徒の調査は、不登校の芽に気づいていく重要な取り組みだと思われる。学校と連携した不登校防止への取り組みが今後も継続して成果をあげてことを期待している。</p> <p>不登校の数値はいくら努力をしてもなかなか抑えられないが、適応指導教室にて社会人として適応できるよう支援をお願いしたい。</p>
-------	---

(方向性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 (課題・有識者意見を踏まえての担当課意見、数値目標等)	<p>適応指導教室への出席率向上を図るうえで、また、学校復帰や進路選択を適切に行うために、保護者や学校との連携を一層密にしたい。</p>	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	4
事務事業名	スクールカウンセラー (SC)	担当課名	学校教育課
係 名	教育相談室	施設名	新庄中学校 白鳳中学校

(計 画)

総合計画上の 位置付け	政策の柱	やさしさ・生きがい～心豊かな人が育ち、誰もが生きがいをもって過ごすまち～		
	政策目標	学校教育や生涯学習による心豊かな人づくり		
	施策目標	互いの人権を尊重し、思いやりのある心と健全な精神を育てる		
事業の目的	学校不適応をはじめ学校生活上の諸問題で悩む児童・生徒に対するカウンセリングを行うことで、諸問題の改善を図る。			
事業の内容	不登校や学校生活の諸問題で悩む児童・生徒・保護者の求めに応じてカウンセリングを行う。また、学級担任や相談担当教員へのコンサルテーション及び職員研修の指導助言を行う。適応指導教室に入室する児童・生徒のカウンセリングを行い、進路を決定する。			
事業対象	市内小・中学校児童・生徒とその保護者、教員			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

		区 分	平成 22 年度決算	平成 23 年度決算	平成 24 年度予算
		事業コスト	事業費 ① (千円)		2,360
内一般財源(千円)			2,360	2,360	2,360
内国・県補助金(千円)			0	0	0
内受益者負担(千円)			0	0	0
人件費 ② (千円)			0	0	0
総コスト①+②(千円)			2,360	2,360	2,360
実績と 成 果	区 分	単 位	平成 22 年度実績	平成 23 年度実績	平成 24 年度(目標)
	事業 実績	相談回数	回	306	304
事業 成果	適応指導教室入室者数	人	4	5	6
	情緒や家庭環境の安定	人	8	7	10

(評価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分貢献している	<input type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	B	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	<p>かつて課題となった多様かつ増加傾向にある相談要請への対応については、スクールカウンセラー(以下、SC)に相談の一切を委ねるのではなく、SCの初期相談の後は教育相談室長が継続相談を引き受けて実施した。また、より専門的な関係機関(医療・サポートルーム等)につなぎ、課題の改善・解決に努め、相当の成果をあげている。</p> <p>平成23年度の相談回数304回のうち、教職員のコンサルテーションが75回あり、不登校傾向をもつ児童・生徒に対する現場の指導に生かされている。また、入室の可否をめぐる相談は9件(のべ48回)である。</p>			
事業の課題・問題点	<p>市が単費で雇用する白鳳中学校のSCは、適応指導教室入室に係る相談や教育相談室所属心理士へのアドバイスの時間も含むため、年間最大50回(400時間)の予算措置をしている。それに対して、県教育委員会から配置される新庄中学校のSCの持ち時間が削減され、年間最大17回(107時間)となり、両校で大きな差異を生じることとなった。</p> <p>ただ、白鳳中学校のSCが担当した相談者の内訳を見たとき、新庄地区の小・中学生に係る相談の割合が低くないことが明らかとなった。そこで平成24年度は、相談者の要望や利便性を踏まえ白鳳中学校のSCに新庄中学校でもSC(年間100時間程度)を担当していただくことにした。</p>			

(有識者意見)

有識者意見	<p>教職員へのコンサルテーションの回数も多く、教育現場での指導に生かされていることに感謝申し上げる。</p> <p>事業No. 2からNo. 4の3つの事業が連携して児童・生徒・保護者の諸問題に対応することで成果があがっているが、施設の整備と人員の確保が必要である。</p>
-------	--

(方向性)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(課題・有識者意見を踏まえての担当課意見、数値目標等)</small>	<p>白鳳中学校のSC相談日を新庄地区に設けることで、相談者の要望にこたえ、利便性の向上が期待される。</p>	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	5
事務事業名	学校給食事業	担当課名	学校給食センター
係 名		施 設 名	学校給食センター

(計 画)

総合計画上の 位置付け	政策の柱	安全・安心～安全がまもられ、安心して暮らせるまち～		
	政策目標	社会生活の安全性の向上		
	施策目標	食に対する安心感を高める		
事業の目的	園児・児童・生徒の心身の健全な発達のため、安全で栄養バランスのとれた給食を提供するとともに、食に関する正しい理解と判断力を養い学校での食育にも資することを目的とする。			
事業の内容	葛城市の給食事業は、2箇所の給食センターから幼稚園5園・小学校5校・中学校2校に給食を実施している。給食数は1日4千食である。安全・安心で栄養バランスのとれた給食を提供し、合理化・効率化を図るために両センターが連携して献立の作成や食材の共同購入を行い、設備管理等における契約業務も統一して行っている。食育の取り組みでは、引き続き地産地消を推進して地元野菜への理解を深め、毎月の献立表に「給食だより」の欄を設けて旬の野菜等の説明を入れたり、給食時の指導材料として「学級のみなさんへ」というプリントを各学級に配布したりしている。			
事業対象	幼稚園・小学校・中学校の園児・児童・生徒			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

事業コスト	区 分		平成22年度決算	平成23年度決算	平成24年度予算	
	事業費 ① (千円)		199,786	217,435	231,796	
	内一般財源(千円)		37,718	54,152	60,206	
	内国・県補助金(千円)		0	0	0	
	内受益者負担(千円)		162,068	163,283	171,590	
	人件費 ② (千円)		85,845	87,170	87,170	
	総コスト①+②(千円)		285,631	304,605	318,966	
実績と 成 果	区 分		単 位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度(目標)
	事業 実績	給食材料費	千円	172,778	173,919	180,064
		内市費	千円	10,710	10,716	8,474
		内保護者負担金	千円	162,068	163,283	171,590
	事業 成果	給食人数	人	3,959	4,013	4,154
		給食数	食	653,269	672,876	696,000

(評価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分貢献している	<input type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	B	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	食材の値上りに対応するため、平成22年4月からの給食費の値上げとともに市からの助成を受けメニューの工夫・食材のやりくりに努力を重ね、安全な給食の提供ができた。地場産物としては、米はすべて奈良県産米であり、ねぎ・鶏卵は市内産でまかなっている。季節の食材としては柿・いちご・酒かすも使用している。地場産物への理解を深める等食育の一環として今後も積極的に取り入れたい。			
事業の課題・問題点	アレルギー対応 給食業務の外部委託化の検討 現在の両給食センターの一本化			

(有識者意見)

有識者意見	給食業務の外部委託は、アレルギーへの対応も含め諸条件について十分吟味して検討することが重要だと思われる。 給食価格の改善努力や地産地消の推進については評価できる。奈良県産食材の使用を今後も積極的に推進していただきたい。 よりよい給食を目指し、今後は児童・生徒へのアンケート調査や給食の残量チェックを実施し、食べる側の立場から学校給食を検証してはどうか。
-------	--

(方向性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 (課題・有識者意見を踏まえての担当課意見、数値目標等)	現在の両学校給食センター(新庄、當麻)を1つに統一して新設し、平成26年度に稼働を行う予定をしている。調理員等も順次定年を迎え、補充もなければ継続して給食調理業務が困難なことから、これを機に保護者、学校、議会などの意見を参考に十分検討を重ね、外部委託の方向で進めたい。 アレルギー対策については、新設する給食センターは最新の設備(ドライシステム)を備えるとともに独立したアレルギー対応調理室を設け、多様化するアレルギー症状に対して除去食を調理するなど、より細かい対応を図りたい。 地産地消については、材料全体の1割を地元食材や奈良県産食材とできることを目指し、引き続き推進したい。 試食会などで、保護者はもとより児童・生徒にも給食に対してのアンケート調査を行い、その結果をふまえて残食の出にくい献立作りの参考にしたい。	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	6
事務事業名	図書館主催講座等事業	担当課名	図書館
係 名		施 設 名	葛城市立図書館

(計 画)

総合計画上の 位置付け	政策の柱	やさしさ・生きがい～心豊かな人が育ち、誰もが生きがいをもって過ごすまち～		
	政策目標	学校教育や生涯学習による心豊かな人づくり		
	施策目標	必要な知識や能力を身につけられるようにする		
事業の目的	市民に図書館を身近に感じていただき、利用を促進する。 また、読書活動の推進や知識を身につけるための支援を行う。			
事業の内容	大人対象：文学講座「志賀直哉と奈良」、葛城市子どもと楽しむ本の世界連続講座（市民および読み聞かせ等ボランティア養成講座）4回…ゆめ基金受給事業（協力 - 葛城市おはなし会連絡協議会） 親子対象：人形劇鑑賞…ゆめ基金受給事業、東日本大震災を受け防災に関する図書展示 子ども対象：木工工作、1日図書館員、ブックラリー、おはなし会、学校・幼稚園等へのおはなし配達、学校・児童館への図書の団体貸出 大人・子ども対象：古本市、ブックリサイクルフェア その他：市民の皆様にご自身の本の収集を呼びかけ、ボランティア団体やNPO法人を通じて被災地に本を届ける活動（大阪樟蔭女子大学と連携）			
事業対象	市民（大人・子ども）、おはなしボランティア、学校・幼稚園・保育所の先生等			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

		区 分	平成 22 年度決算	平成 23 年度決算	平成 24 年度予算	
		事業コスト	事業費 ① (千円)		100	0
内一般財源(千円)			100	0	20	
内国・県補助金(千円)			0	0	0	
内受益者負担(千円)			0	0	0	
人件費 (千円)			2,696	1,213	44	
総コスト①+②(千円)			2,796	1,213	64	
実績と 成 果	区 分		単 位	平成 22 年度実績	平成 23 年度実績	平成 24 年度(目標)
	事業 実績	子どもと楽しむ本の世界	千円	(356)	(191)	—
		各種講座	千円	100 (110)	—	20
		人形劇	千円	—	(101)	—
	事業 成果	子どもと楽しむ本の世界	人	446	217	—
		各種講座	人	885	679	700
		人形劇	人	—	156	—

(評価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分貢献している	<input type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	A	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	<p>ボランティア養成講座の計画においては、ボランティアと図書館が学びたいこと、学んでほしいこと等希望や意見を出し合って内容を練り上げた。その結果、双方が満足でき、協力・連携体制も強化された。またボランティアの人数も増加して活気づいている。</p> <p>東日本大震災に関連する図書の展示を行うことにより、これまで図書館に縁のなかった方も知識や情報を得るために来館された。さらに、被災地に子どもの本を届ける活動を通じて近隣大学との連携も深まった。</p>			
事業の課題・問題点	<p>ボランティアと図書館の関係は良好であり、協力・協働も深化している。新たにボランティアを始める方も増え、フォローが必要である。今後はスキルアップ講座に加え、入門・初級講座も開催して基礎となる知識や技術を習得できるよう努めなければならない。</p> <p>図書館職員の深い知識と豊かな経験も必須であり、人材育成が課題である。</p>			

評価を受けての改善点(過去3年間)	<p>「小さい子どもは保護者と一緒でないと来館しづらい。何か工夫できないものか」と受けて、親子を対象とした人形劇の鑑賞を企画したところ、募集人数をはるかに上回る申し込みがあった。参加した親子は昔話を人形劇で楽しみ、図書館へ足を運ぶきっかけとなった。</p>
-------------------	--

(有識者意見)

有識者意見	<p>子どもから大人まで幅広い対象者への事業を、ボランティアとの協力体制を築きながら工夫して推進し、成果をあげている。</p> <p>人形劇の鑑賞申込みが多数あり、図書館利用のきっかけに効果があがったことは、努力に対し大きな成果だったと認められる。成人者の利用もさることながら、ボランティアや保護者を巻き込んだ年の少者の利用促進に引き続きご努力いただきたい。</p>
-------	---

(方向性)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(課題・有識者意見を踏まえての担当課意見、数値目標等)</small>	<p>ボランティアとの協力体制を強固にし、更に新しいボランティアを育てるためには日常の随時支援に加え、入門講座やスキルアップ研修等の開催が必要である。ボランティアのニーズも考慮しながら研修を企画していきたい。</p> <p>また、親子で参加できる催しも実施して幼少期から本に親しめるよう努めたいと思う。</p>	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	7
事務事業名	葛城歌壇短歌募集事業	担当課名	図書館
係 名		施設名	葛城市立図書館

(計 画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	愛着・快適～自然や歴史遺産の豊かさと住みよさが共存する、愛されるまち～		
	政策目標	歴史・文化の保全・継承と交流の促進		
	施策目標	伝統文化を継承するとともに新たな文化・交流を生み出す		
事業の目的	柿本人麻呂及び前川佐美雄二人の歌人を記念して、葛城市生涯学習の拠点づくりと短歌の故郷「葛城」を目指す。			
事業の内容	平成6年度より、葛城市ゆかりの柿本人麻呂、前川佐美雄の二人の歌人を顕彰し、短歌の故郷「葛城」を目指して短歌を募集している。また、平成23年度は、葛城歌壇が第15回目を迎える節目の年であったことから、短歌大会において、前川佐美雄のご子息で日本歌人代表の前川佐重郎氏にご講演をいただいた。 加えて、短歌に親しむ裾野を広げるために短歌講座を2回開催した。			
事業対象	小学生以上			
事業年度	■	区分指定無	□	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

事業コスト	区 分		平成22年度決算	平成23年度決算	平成24年度予算	
	事業費 ① (千円)		1,000	963	1,105	
	内一般財源(千円)		850	792	935	
	内国・県補助金(千円)		0	0	0	
	内受益者負担(千円)		150	171	170	
	人件費 ② (千円)		1,644	2,186	2,270	
	総コスト①+②(千円)		2,644	3,149	3,375	
実績と成果	区 分		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度(目標)
	事業実績	選者	千円	240	180	280
		印刷、送料他	千円	702	743	760
		短歌講座	千円	20	40	20
		前川佐美雄展	千円	38	—	—
		講演会	千円	—	(109)	—
	事業成果	応募者	人	1,294	1,364	1,400
		応募作品	首	2,139	2,286	2,300
		短歌大会参加者	人	84	120	100
		短歌講座	人	61	79	40
		前川佐美雄展	人	382	—	—
		講演会	人	—	120	—

(評価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分貢献している	<input type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト削減しているか。)			
<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	A	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	第15回の短歌大会において、前川佐重郎氏に「前川佐美雄の歌を読む」と題してご講演いただいたことは意義深く、佐美雄の人柄や作品の背景などについて理解を深めてもらうことができた。 以前の短歌講座は短歌の特性や前川佐美雄に関することがテーマであったが、平成23年度では短歌をつくる力を向上させることを目的として、参加者が詠んだ短歌を講師に添削・解説していただいた。結果、参加者は初心者・上級者を問わず、その力を高めることができた。			
事業の課題・問題点	年々応募者は増加しているが、新規応募者の更なる開拓と歌壇の周知が課題である。平成23年度の短歌大会では講演会を開催したことから、短歌の関係者の参加者が目立ち、海外からの応募作品も増加した。しかし市民の皆様が前川佐美雄を誇りに思われ、歌壇の興隆を目指すには市をあげてのPRが必要であると考えます。現在のチラシは自前で輪転機印刷をしており、他自治体が募集する歌壇に比べてかなり見劣りがする。短歌大会においても入賞者の記念品がなく予算不足である。 歌壇が発展するには、図書館職員にも短歌や結社の知識が必要であり、人材育成が課題である。			

評価を受けての改善点(過去3年間)	「市外の方の作品応募について応募方法を工夫できないか」を受けて、短歌募集のチラシやポスターの配布先となる施設や結社を拡大し、歌壇の存在が多くの人の目に触れるように工夫した。また、図書館のホームページから応募用紙をダウンロード可能にすることも決め、海外の応募者についてはメールでの受付を検討している。どちらも平成24年度から実施する予定である。
-------------------	---

(有識者意見)

有識者意見	最初の投稿というものが難しい中で、市外の応募に対する取り組みは評価に値する。 平成23年度の大会参加者が大幅に増え海外からの応募作品も増加したのは、葛城歌壇15回目の節目の年にふさわしい企画が成果に繋がったからだと思う。 学校の協力を得ることにより子どもたちからの応募も多いようで、短歌に興味・関心を持つ良い機会になっていると思われる。 入賞者への記念品や子どもたちへの参加賞などを考えてみてはどうか。
-------	--

(方向性)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 (課題・有識者意見を踏まえての担当課意見、数値目標等)	全ての参加者に『葛城歌壇作品集』を差し上げているが、入賞者には、今後の励みになるような記念品の予算要求を検討している。 学生の部においては、引き続き学校に協力を得て前川佐美雄の偉業の定着を図りたい。また一般の部と同じく、入賞者記念品の予算要求を行う予定である。	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	8
事務事業名	ブックスタート事業	担当課名	図書館
係 名		施 設 名	葛城市立図書館

(計 画)

総合計画上の 位置付け	政策の柱	やさしさ・生きがい～心豊かな人が育ち、誰もが生きがいをもって過ごすまち～		
	政策目標	子育てと生きがいの両立		
	施策目標	地域で支えあいながら、楽しく子育てができるようにする		
事業の目的	絵本を介して赤ちゃんと保護者が触れ合う機会をつくれるよう、行政と地域が連携して子育てを支援する。			
事業の内容	健康増進課、ボランティア、図書館が連携・協力して、毎月実施される4ヶ月児健診時に実施。 絵本を手渡ししながらブックスタートの趣旨を伝え、絵本の読み聞かせを行う。			
事業対象	4ヶ月児健診対象の赤ちゃんと保護者			
事業年度	■	区分指定無	□	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

		区 分	単位	平成22年度決算	平成23年度決算	平成24年度予算	
		事業コスト	事業費 ① (千円)			328	257
内一般財源(千円)				328	257	375	
内国・県補助金(千円)				0	0	0	
内受益者負担(千円)				0	0	0	
人件費 ② (千円)				1,249	1,149	1,200	
総コスト①+②(千円)				1,577	1,406	1,575	
実績と 成 果	区 分		単 位		平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度(目標)
	事業 実績	ブックスタート	千円	220	257	316	
		子育て支援講座	千円	—	—	60	
	事業 成果	ブックスタート	組		312	308	350
		子育て支援講座	人		—	—	75

(評価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分貢献している	<input type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	A	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	ブックスタートは、赤ちゃんと保護者が心をふれあうひとときを持つきっかけになり、親子の愛情を育む上で効果を上げている。 事業実施の際におすすめ絵本の紹介や子育て支援センターの催しの案内も行っており、図書館利用や催しへの参加者が増加している。			
事業の課題・問題点	ブックスタートはボランティアの協力が必須である。新たなボランティアを獲得するためにも講座や研修は継続的に行っていかなければならない。また、子育て支援センター以外にも連携できる機関を増やし、様々な立場の人が共通認識を持って取り組むことにより事業の充実に努めたい。			

(有識者意見)

有識者意見	図書館利用や催しへの参加者も増加し、子育て支援としても素晴らしい事業である。今後も関係機関との連携、ボランティアの協力を得て継続していただきたい。 職員の人員数からみてもボランティアのサポートは欠かせないため、更なる研修会等を企画しその充実に努力してもらいたい。
-------	--

(方向性)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(課題・有識者意見を踏まえての担当課意見、数値目標等)</small>	今後も子どもの心身の発達や特性について学ぶ研修会等を企画したい。研修会開催の際には関係機関やボランティアの参加を呼びかけ、図書館における子育て支援事業の拡充に努めたい。	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	9
事務事業名	公園まつり実行委員会	担当課名	生涯学習課
係 名	生涯学習係	施 設 名	

(計 画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	やさしさ・生きがい～心豊かな人が育ち、誰もが生きがいをもって過ごすまち～		
	政策目標	学校教育や生涯学習による心豊かな人づくり		
	施策目標	互いの人権を尊重し、思いやりのある心と健全な精神を育てる		
事業の目的	市民が集い共に活動する中で仲間としての絆を強め、地域文化への理解をより一層深めながら、誇りを持って活力あるまちづくりに参加することを目的とする。			
事業の内容	葛城市公園まつり実行委員会を主催者として、葛城市体育協会および区長会をはじめとする約20団体の協賛により、屋敷山公園一帯において、摂南大学吹奏楽部による演奏のオープニングに始まり琉球國祭り太鼓・パントマイムショー・演劇・コンサート等の野外イベントを実施するとともに、模擬店・盆栽展示・フリーマーケット等も同時に出店し、盛大に執り行った。			
事業対象	市内地域住民			
事業年度	■	区分指定無	□	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

事業コスト	区 分		平成22年度決算	平成23年度決算	平成24年度予算	
	事業費 ① (千円)		2,000	1,500	1,500	
	内一般財源(千円)		2,000	1,500	1,500	
	内国・県補助金(千円)		0	0	0	
	内受益者負担(千円)		0	0	0	
	人件費 ② (千円)		3,515	3,485	3,485	
	総コスト①+②(千円)		5,515	4,985	4,985	
実績と成果	区 分		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度(目標)
	事業実績	決算額	千円	1,800	1,297	1,500
		企画運営委員会	回	2	1	1
		実行委員会	回	1	1	1
	事業成果	参加人数	人	10,000	7,000	10,000
		協賛団体	団体	23	23	22

(評価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分貢献している	<input type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	A	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	当初、芝生広場の野外イベント会場をメインに開催する予定であったが、当日は雨天であったため体育館をメイン会場として実施した。子どもからお年寄りまで家族全員が春の1日を和やかに過ごせるようイベント内容について工夫を凝らした結果、雨天にもかかわらず、予想していた以上の来場者で賑わった。			
事業の課題・問題点	昭和50年代から続く伝統のある公園まつりを衰退させることなく、マンネリ化しないよう趣向を凝らし、毎年この時期に地域住民が自然に集い、楽しめる事業として定着させていきたい。また20を超える協賛団体の方々にも、やりがいを持ってこの事業に参加していただけるような体制作り、更に工夫を加える必要があると思われる。			

評価を受けての改善点(過去3年間)	周辺道路の安全を考慮するため、中学校のグラウンドを臨時駐車場として借用し、会場周辺の道路をループ状に交通規制したことにより、山麓線を中心とする交通渋滞が解消できた。 また、平成24年度より会場である中央公民館に事務局を置くことにより、スムーズな運用が期待される。
-------------------	--

(有識者意見)

有識者意見	公園まつりを長年でここまで発展されたことは事業の本懐であろう。事業成功事例の典型である。雨天にもかかわらず7千人もの参加者があったのはイベント内容について工夫された成果であると思われる。 葛城市で開催される大きなイベントで、市民だけでなく市外からの来場者も多く、受け入れ体制にはご苦労もあると思われるが、関係団体との協力のもと伝統的な事業として内容の工夫・充実を期待する。 今の日程での開催にこぎつけて年も浅いが、二日間開催も視野にいていただきたい。
-------	---

(方向性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(課題・有識者意見を踏まえての担当課意見、数値目標等)</small>	関係団体との協力のもと伝統的な事業として毎年新たな試みを加えながら、更に趣向を凝らし訪れる人すべてが楽しめる事業として定着させていきたい。 また協賛団体の方々と共に連携を深め、やりがいを持ってこの事業に参加していただけるよう工夫していきたい。 二日間開催については、一日に変更になった主な理由も含め二日間必要なものであるかを検討して、慎重に考える必要があると思われる。	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	10
事務事業名	成人式	担当課名	生涯学習課
係 名	生涯学習係	施 設 名	

(計 画)

総合計画上の 位置付け	政策の柱	やさしさ・生きがい～心豊かな人が育ち、誰もが生きがいをもって過ごすまち～		
	政策目標	学校教育や生涯学習による心豊かな人づくり		
	施策目標	互いの人権を尊重し、思いやりのある心と健全な精神を育てる		
事業の目的	新成人が大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ますため、成人の日に合わせて本事業を行う。大人としての責任を感じ、義務を果たすことの必要性を実感するための機会としたい。			
事業の内容	新成人による新成人のための成人式にするために、新成人からスタッフを募集し、企画・運営等について20回以上の会議を行い協議を重ね、会場舞台の飾り付け等の諸準備も行うなどして、本事業を実施する。			
事業対象	新成人及び新成人関係者			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/> 区分指定無	<input type="checkbox"/> 平成	～	平成 間

(実施内容)

	区 分		平成22年度決算	平成23年度決算	平成24年度予算	
	事業コスト	事業費 ① (千円)		1,000	1,000	1,000
		内一般財源(千円)		1,000	1,000	1,000
		内国・県補助金(千円)		0	0	0
		内受益者負担(千円)		0	0	0
		人件費 ② (千円)		3,873	3,839	3,839
	総コスト①+②(千円)		4,873	4,839	4,839	
実績と 成 果	区 分		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度(目標)
	事業 実績	決算額	千円	893	877	900
		スタッフ会議	回	20	24	20
	事業 成果	参加人数	人	286	275	272
		対象者人数	人	381	364	340

(評価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分貢献している	<input type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	A	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	<p>今年度で5回目となる新成人による手作り成人式であるが前年度の成果と課題を踏まえながらノウハウを継承・再検討しつつ新企画も盛り込んだ。</p> <p>毎年その年の新成人スタッフが自分たちの時代にふさわしい特色のある企画を考案している。今年は春に東日本大震災、また秋に奈良県南部で台風による災害があり「十津川村の報告」と題して現地取材を行い、十津川村との交流を図ることが出来た。</p> <p>今後も成人式をより充実したものとするとともに、積極的に地域社会に貢献できる青年を育成するよう、新成人スタッフに指導助言を行い、事業を進めていきたい。なお、新成人スタッフへの労いの意味を込めて、本年度も新成人研究会の成人式大賞に応募した。</p>			
事業の課題・問題点	<p>本事業は行政主体ではなく新成人が中心であり、なおかつ毎年異なるスタッフにより事業展開するため、安定した出来映えを常に期待することは出来ない。しかしながら、行政側の過去の経験をアドバイスするとともに、新成人の潜在能力をうまく引き出して、より良い事業に作り上げていく必要があると思われる。</p>			

(有識者意見)

有識者意見	<p>新成人からスタッフを募集し、自分たちの企画・運営で成人式を作り上げていくことで、社会の一員としての自覚・責任などに気づき考えていく良い機会になっていると思われる。新成人スタッフが職員協力のもと事業主体となっていることに意義を感じる。十津川村の現地取材を行い、交流を図ったのも意義深い企画である。</p> <p>毎年メンバーが代わることに加え、限られた期間の中でスタッフ会議を重ね、指導を行うなかで行政としてのご苦労も多いと思われるが、心のこもった手作りの成人式が葛城市の成人式として定着していくことを願う。</p>
-------	--

(方向性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(課題・有識者意見を踏まえての担当課意見、数値目標等)</small>	<p>毎年メンバーが変わる新成人スタッフをサポートしつつ、本事業が心のこもった手作りの成人式となるようよりいっそう充実させていくための手法および体制が不確定であるが、今後も本事業の主体である新成人スタッフに対し、行政として出来る限りの指導と助言を行い、新成人にとって一生思い出に残るような事業に作り上げていきたい。</p> <p>また新成人が自ら地域社会に積極的に貢献していけるよう自覚を促す一助となる事業と考えている。</p>	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	11
事務事業名	生涯学習人材バンク業務	担当課名	生涯学習課
係 名	生涯学習係	施 設 名	

(計 画)

総合計画上の 位置付け	政策の柱	やさしさ・生きがい～心豊かな人が育ち、誰もが生きがいをもって過ごすまち～		
	政策目標	学校教育や生涯学習による心豊かな人づくり		
	施策目標	必要な知識や能力を身につけられるようにする		
事業の目的	豊かな知識・経験・技能等をお持ちの市民にボランティア活動として学校教育や社会教育のお手伝いをいただき、本市教育のより一層の振興を図ろうとするものである。 健康で生き甲斐のある明るく住みよいまちづくりに役立つことを目的に、人材バンク募集・登録及び派遣により生涯学習の推進を図る。			
事業の内容	人材バンク募集及び登録に基づき、自主的に活動している市内の団体やグループ、サークル等の学習活動の支援のための斡旋や派遣を行う。			
事業対象	市内地域住民（自主活動グループ等）			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

	区 分		平成 2 2 年度決算	平成 2 3 年度決算	平成 2 4 年度予算	
	事業コスト	事業費 ① (千円)		20	21	26
		内一般財源(千円)		20	21	26
		内国・県補助金(千円)		0	0	0
		内受益者負担(千円)		0	0	0
		人件費 ② (千円)		0	0	0
	総コスト①+②(千円)		20	21	26	
実績と 成 果	区 分		単位	平成 2 2 年度実績	平成 2 3 年度実績	平成 2 4 年度(目標)
	事業 実績	決算額	千円	20	21	26
	事業 成果	登録人数	人	63	64	64
		派遣講師数	人	22	28	30
		受講者数	人	60	41	50

(評価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分貢献している	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	B	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	人材バンクへの登録件数は僅かながら増加しているが、派遣講師数は無いに等しい状況である。しかし、教育委員会の他の部署とも連携を密にすることにより、他課事業に対する講師派遣の実績がある。平成22年度より放課後子ども教室事業が廃止となったため講師の派遣場所が少なくなったものの、新規事業に講師を積極的に紹介することにより活動場所の確保が得られた。			
事業の課題・問題点	上記のとおり、講師登録数に対し派遣数が少ない。そのため、生涯学習課で行う新規事業(学校・地域連携事業)や他課の事業(移動講座等)に講師を積極的に紹介し、他事業で人材バンクを利用させていただいている。しかし本事業での講師派遣の成果が見られないため、今後、教育委員会の他の部署とさらに連携を密にしながら、より一層事業の活性化を図っていく必要がある。			

(有識者意見)

有識者意見	講師派遣数が50%を切り受講者も非常に少ないので、人材バンク登録者が活用できるよう工夫していただきたい。講師登録が順調である中、講師の活用がままならないのはじつにもったいない限りである。 派遣要請を待つだけでなく、登録講師同士の座談会や講師による派遣アイデアの研修会を考えられないものか。
-------	---

(方向性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(課題・有識者意見を踏まえての担当課意見、数値目標等)</small>	有識者よりご提案いただいたように、派遣要請を待つだけでなく新たな派遣アイデアを提案し、人材バンク登録者が活用できるよう工夫していく必要があると思われる。他の部署とさらに連携を密にししながら、より一層事業の活性化を図っていききたい。	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	12
事務事業名	青少年健全育成	担当課名	生涯学習課
係 名	子ども・若者育成支援係	施 設 名	

(計 画)

総合計画上の 位置付け	政策の柱	やさしさ・生きがい～心豊かな人が育ち、誰もが生きがいをもって過ごすまち～		
	政策目標	学校教育や生涯学習による心豊かな人づくり		
	施策目標	互いの人権を尊重し、思いやりのある心と健全な精神を育てる		
事業の目的	次代を担う青少年の健全な育成を地域ぐるみで図る。			
事業の内容	市青少年健全育成協議会を組織し、所属団体の校長会・生徒指導主任者会・PTA協議会・県青少年指導員・高田警察署少年補導員の5団体間の連絡調整を行い、下記の活動を推進する。 ①広報・啓発活動の推進(市広報誌への掲載・駅等での啓発活動) ②非行防止と環境浄化運動の推進(繁華街等での巡視活動)			
事業対象	市内青少年			
事業年度	■	区分指定無	□	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

		区 分	単位	平成22年度決算	平成23年度決算	平成24年度予算
		事業コスト	事業費 ① (千円)			400
内一般財源(千円)				400	400	400
内国・県補助金(千円)				0	0	0
内受益者負担(千円)				0	0	0
人件費 ② (千円)				1,299	1,317	1,317
総コスト①+②(千円)				1,699	1,717	1,717
実績と 成 果	区 分		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度(目標)
	事業 実績	会議	回	4	4	4
		研修会	回	0	0	0
		巡視活動	回	2	3	2
		街頭啓発	回	2	2	2
	事業 成果	会議	人	76	65	80
		研修会	人	0	0	0
		巡視活動	人	30	38	40
		街頭啓発	人	64	61	70

(評価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分貢献している	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	B	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	<p>当初の活動計画どおりに実施できたが、所属団体間の連絡調整だけではなく、団体が（全団体ではなくても）協力して活動できるような具体的な取組を進めることが必要であると考えます。</p> <p>巡視活動・啓発活動は各所属団体でも実施しているが、実績と成果に掲載した数は市青少年健全育成協議会が全体で取り組んだ数を示す。</p>			
事業の課題・問題点	<p>7月の「青少年の非行・被害防止強調月間」及び11月の「子ども・若者育成支援強調月間」についての啓発活動を行っているが、市民が意識を持って自分たちの手で地域の青少年を育成するという行動に結びつくところまでには達していない。</p> <p>また、生涯学習課が業務の一部として担当する中で青少年の問題は大きな課題であり、この課題に専門的に対応する機関（他市にある青少年センター）の設置を検討する必要があると考えます。</p>			

(有識者意見)

有識者意見	<p>生涯学習課の事業は多岐に渡る。子どもたちの健やかな成長のために、本事業や教育相談室が実施している事業等を集約して対応していく青少年センターの設置を検討していくことが重要課題である。</p> <p>巡視活動・啓発活動についてはこれ以上多くを期待できないであろう。むしろ、各自治会の子ども会活動を充実させて、上からではなく下の方からコツコツと努力する時期ではないだろうか。</p>
-------	---

(方向性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(課題・有識者意見を踏まえての担当課意見、数値目標等)</small>	<p>「地域住民の盛り上がり」が一番必要な事業であり、市民の皆さんの意識をどのように高めるかに重点を置きつつ、市青少年健全育成協議会の会員を中心に地域の青少年育成のための広報啓発活動を充実させていきたい。</p> <p>また、有識者の意見にもあるように指導・助言機関として今後「青少年センター」の設置も含め検討して参りたい。</p>	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	13
事務事業名	分館モデル地区	担当課名	生涯学習課
係 名	生涯学習課	施 設 名	

(計 画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	参画・活力～市民と行政が目標を共有し、ともに取り組むまち～		
	政策目標	市民参画による協働のまちづくりの推進		
	施策目標	地域コミュニティ・団体を育てる		
事業の目的	毎年2分館を指定し、各分館のモデル的な活動をしてもらう。			
事業の内容	「住んでみたいまち葛城市」を目標に市内68の公民館・分館で行われている移動講座を中心とする生涯学習活動のモデルとして、市内で2分館を選び、地域住民によるまちづくりがより積極的に行われることを目指している。			
事業対象	葛木コミュニティセンター・太田集落センター			
事業年度	■	区分指定無	□	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

事業コスト	区 分		平成22年度決算	平成23年度決算	平成24年度予算	
	事業費 ① (千円)		500	500	500	
	内一般財源(千円)		500	500	500	
	内国・県補助金(千円)		0	0	0	
	内受益者負担(千円)		0	0	0	
	人件費 ② (千円)		358	353	353	
	総コスト①+②(千円)		858	853	853	
実績と成果	区 分		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度(目標)
	事業実績	決算額		1,049	1,482	1,000
	事業成果	活動件数		44	83	50

(評価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分貢献している	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	B	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	<p>指定分館として指名された2分館のうち、葛木コミュニティセンターは、分館活動において子ども会の設立をはじめ各種団体の活動が見直されるとともに、地域の歴史も学習され、テーマである「コミュニケーション・ふれあいの場から絆・・・」を達成された。</p> <p>一方、太田集落センターは神明神社をはじめ地域の歴史遺産・名所の掘り起こしとともに、婦人部をはじめ各種団体の活動が以前にも増して活発に実施された。特に今年は太田だんじり会(楽)による「だんじりまつり」に力を入れ「住みよい町、笑顔の町づくりを」をテーマに分館活動を実施された。</p> <p>今後も生涯学習課としては、各分館の役員等と事前に協議を重ね、事業の推進について充分打ち合わせを行うとともに各地域の特色を活かしながら、分館活動のモデルとしてのあるべき姿を示していきたいと考えている。</p>			
事業の課題・問題点	各分館の地域性や役員スタッフの取組姿勢に違いがあるため、事務局として指導が困難な場合がある。			

(有識者意見)

有識者意見	<p>各自治体の分館を運用するという観点から、意義深い事業である。</p> <p>指定された分館は良く理解され協力されていると思う。指定分館として指名されたのを契機に子ども会が設置されたことは、地域の人の繋がりが深まり大きな成果だと思われる。事務局として指導に苦労されることもあるようだが、地域の良さに気づいていく良い機会になると共に、町の活性化も図っていける事業として継続していただきたい。</p> <p>職員の働きかけによって、一つづつすべての分館で実施することに尽きると考える。</p>
-------	--

(方向性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(課題・有識者意見を踏まえての担当課意見、数値目標等)</small>	地域の繋がりを深めるための良い機会になるだけでなく、まちの活性化も図っていける事業である。今後も引き続き十分な成果が上げられるよう担当課として取り組んでいき、各地域の特色を活かせるよう十分に指導を行いたい。更に分館活動のモデルとして地域住民によるまちづくりがより積極的に行われるよう進めていきたい。	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	14
事務事業名	生涯学習まちづくり推進大会	担当課名	生涯学習課
係 名	生涯学習係	施 設 名	

(計 画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	参画・活力～市民と行政が目標を共有し、ともに取り組むまち～		
	政策目標	市民参画による協働のまちづくりの推進		
	施策目標	地域コミュニティ・団体を育てる		
事業の目的	主に市内の小・中学校生の日頃の思いを発表する場とモデル分館(毎年2館指定)が、1年間の生涯学習活動の成果について発表を行う場として本事業を捉えており、明るく楽しい「生涯学習まちづくり」の推進を目指している。			
事業の内容	①モデル分館として指定を受けている葛木コミュニティセンター及び太田集落センターによる生涯学習活動発表 ・発表の内容は伝統文化の紹介、地域文化継承及び文化資源の保存等の取組 ・区民の交流の機会・場づくりを目指した取組 ②モデル分館指定を受けている2分館による手芸、絵画、写真等の展示会 ③市内小中学校児童・生徒による学校での体験学習や生活発表的な作文の朗読			
事業対象	市民			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

		区 分	平成22年度決算	平成23年度決算	平成24年度予算	
		事業コスト	事業費 ① (千円)		49	52
内一般財源(千円)			49	52	54	
内国・県補助金(千円)			0	0	0	
内受益者負担(千円)			0	0	0	
人件費 ② (千円)			1,008	1,012	1,012	
総コスト①+②(千円)			1,057	1,064	1,066	
実績と成果	区 分	単 位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度(目標)	
	事業実績	参加人数	人	584	640	600
	事業成果					

(評価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分貢献している	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	B	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	本年度はオープニングに幼稚園児の和太鼓演奏を取り入れたこともあり、640名の参加者を得て盛況のうちに大会が終わった。 内容については、各地域における伝統文化や新たな取組等の紹介が行われ、地域文化の認識や生涯学習活動を通じて地域住民の交流を図る良い機会となり、大変有意義な事業であったと思われる。 また、小中学生の作文発表や文化団体による発表などは、多くの人前で行う事により、貴重な経験を積むことが出来る事業であると思われる。			
事業の課題・問題点	モデル指定分館(2館)の発表について、残り20数分館を残すだけとなり、複数分館を抱える大字については再度の活動報告を求められるケースが出てきている。このような場合、複数分館を合同で行いたいとの意見もあり、今後実情に応じた対策を講じる必要があると思われる。			

評価を受けての改善点(過去3年間)	モデル分館を指定する上に置いて毎年苦慮しているので、平成24年度より発表分館を計画性を持って指定していきたい。
-------------------	---

(有識者意見)

有識者意見	発表の場があることで、指定された分館では協力・連携を深め、目標を持って取り組み、終えたときの充実感・達成感などは貴重な体験になると考える。 事業No. 13の一部として評価してはどうか。
-------	--

(方向性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(課題・有識者意見を踏まえての担当課意見、数値目標等)</small>	発表分館においては、発表原稿を作り上げていく課程の中で地域における伝統文化を住民自らが改めて見直し、地域文化により一層深く関わっていける良い機会となり、また当日参加される別の分館にとっては分館活動における参考になる有意義な事業である。 次に、小中学生の作文発表や文化団体による発表などは、貴重な経験となるとともに、人前で発表するという目標を持って取り組み、成し遂げた事への充実感を得られる重要な要素であると考えているため、引き続き本事業の推進に努力していきたい。	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	15
事務事業名	子ども・若者育成支援事業	担当課名	生涯学習課
係 名	子ども・若者育成支援係	施 設 名	

(計 画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	やさしさ・生きがい～心豊かな人が育ち、誰もが生きがいをもって過ごすまち～		
	政策目標	学校教育や生涯学習による心豊かな人づくり		
	施策目標	互いの人権を尊重し、思いやりのある心と健全な精神を育てる		
事業の目的	進学や就職をせず社会とのつながりが希薄になることで、自宅以外での生活の場が失われている子どもや若者に対し、法にもとづき「葛城市子ども・若者支援地域協議会」を設置し、行政分野や関係機関と連携して適切な支援を継続的に講じることにより健全な社会人として生活できるようサポートする。			
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年10月7日に設置した「葛城市子ども・若者支援地域協議会」の運営体制等協議代表者会・実務者会および個別ケース検討会議の開催 ・相談窓口開設および面談室新設（當麻文化会館内） 午前10時～午後4時 相談日 週1回（木） 平成23年10月から週4回（月・木・金・土） ・継続的な支援の実施 			
事業対象	ニート・ひきこもり対象者（中学卒業後～30代）			
事業年度	<input type="checkbox"/>	区分指定無	<input checked="" type="checkbox"/>	平成 22年度 ～ 平成 23年度 間

(実施内容)

事業コスト	区 分		平成22年度決算	平成23年度決算	平成24年度予算	
	事業費 ① (千円)		2,576	6,558	7,679	
	内一般財源(千円)		1,476	1,837	7,679	
	内国・県補助金(千円)		1,100	4,690	0	
	内受益者負担(千円)		0	0	0	
	人件費 ② (千円)		0	0	0	
	総コスト①+②(千円)		2,576	6,558	7,679	
実績と成果	区 分		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度(目標)
	事業実績	決算額	千円	2,576	6,558	7,679
		相談室設置	箇所	1	1	1
		面談室設置	箇所		1	1
	事業成果	相談件数	件	7	17	25

(評価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分貢献している	<input type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト削減しているか。)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	B	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	<p>ニート・ひきこもりの状況にある本市の子ども・若者に対して、設置した協議会を活用し運用するため実務者会議や個別ケース検討会議を開催し、未完成ではあるが運用に踏み込むことが出来た。今後運用上の課題もあるが、適応指導教室(ふたかみ教室)に在籍する生徒が中学校を卒業した後にフォローする体制が整い、不登校やニート・ひきこもりの状況にある子ども・若者が社会になじみ円滑に社会生活を営めるようになることが期待できると考えている。</p> <p>また、本事業については補助金の有無にかかわらず、平成24年度以降も継続して実施する予定である。</p>			
事業の課題・問題点	<p>対象となる子ども・若者やその保護者等の相談日を平成23年10月より週1回から週4回に増やすとともに面談室を新設したが、今後相談者の学習等の支援を実施する場所として居場所となる場所の確保と関係機関との連携を如何に取っていくかが課題である。</p>			

(有識者意見)

有識者意見	<p>補助金の有無にかかわらず本事業を継続し、社会に適応できない若者への支援を続けていただくのは有難い。ニートやひきこもりの状況にある子ども・若者は潜在化していくことも多いため、地域協議会の関係機関との連携を図りながら見過ごすことのないよう取り組みを推進していただきたい。</p> <p>デフレ不況が続く中、今後ますます重要度を増す事業だと思われる。他市町村に比べ、事件・事故が少ない住みやすい環境もこうした事業の隠れた成果であろう。ニート・引きこもりの若者支援に今後も努力していただきたい。</p>
-------	--

(方向性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(課題・有識者意見を踏まえての担当課意見、数値目標等)</small>	<p>ニートやひきこもりの状況にある子ども・若者についての支援を今後も継続し、相談業務だけでなく協議会の運用に重点を置くため人的体制を整えるとともに関係機関との連携も図って参りたい。</p>	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	16
事務事業名	地区館教室・講座事業	担当課名	中央公民館（當麻文化会館）
係 名	地区館係	施 設 名	5 地 区 館

(計 画)

総合計画上の 位置付け	政策の柱	やさしさ・生きがい～心豊かな人が育ち、誰もが生きがいをもって過ごすまち～		
	政策目標	学校教育や生涯学習による心豊かな人づくり		
	施策目標	必要な知識や能力を身につけられるようにする		
事業の目的	生涯学習社会の構築を目指す一環として、地域において趣味や教養の習得を同じくする人々が地区館に集い、自主的な活動を推進する機会を提供するとともに、交流を深め、活動の輪を広げるものである。			
事業の内容	市内5地区館（足田、忍海、北花内、磐城、當麻）において、絵画、手芸、いきいき体操、絵手紙、押し花、俳句、書道、華道、茶道、フラワーアレンジメント、料理、水彩淡彩画等の教室・講座を年間4回～20回開催する。			
事業対象	市内在住・在勤者			
事業年度	■	区分指定無	□	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

		区 分	平成22年度決算	平成23年度決算	平成24年度予算	
		事業コスト	事業費 ① (千円)		2,610	2,474
内一般財源(千円)			2,610	2,474	2,620	
内国・県補助金(千円)			0	0	0	
内受益者負担(千円)			0	0	0	
人件費 ② (千円)			469	915	915	
総コスト①+②(千円)			3,079	3,389	3,535	
実績と 成 果	区 分	単 位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度(目標)	
	事業 実績	各種教室・講座	総回数	128	129	134
	事業 成果	参加人数	人	287	272	279

(評価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分貢献している	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	B	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	<p>生涯学習の気風を広め、参加者の相互交流を深めるといふ地区館教室・講座事業の目的達成のため、次のように取り組んできた。昨年度と同様、2つの教室においてスタッフが同席し、教室の運営を支援してきた。講師と協力し、継続受講者と新規受講者の学習内容等について調整し、学習効果が上がるよう努めた。</p> <p>受講者にアンケート調査を実施した。「教室講座に参加して一番楽しいことは」という設問では「他の受講者や講師先生との交流」との回答が60パーセントを越えた。受講者が学習していく過程で、いろいろな人とつながりを持ち、学ぶための楽しい人間関係が形成されていると思われる。共に学習していく中で、教室に一体感が醸成され、学習効果が上がり、教室・講座での学習が楽しいものになっていると考える。</p>			
事業の課題・問題点	<p>アンケート調査では教室・講座の開設について継続開設希望が多く、今年度も新教室開設は1教室、講座時間数では1講座で4時間増にとどまった。アンケート調査結果では新講座開設の要望もあるが、予算と場所の関係もあり、引き続き検討課題としたい。</p> <p>毎年継続して受講しておられる方が多数あり、新しい受講者と習熟度に違いが生じている教室・講座もある。新講座開設の課題と合わせて考えていかねばならない問題である。</p> <p>定員をオーバーした教室・講座が2教室ある。講師の好意と受講者の理解により実施することができたが、昨年度に引き続き今後の課題である。また受講者の駐車場確保が困難で近隣住民からの苦情もある。</p>			

評価を受けての改善点(過去3年間)	<p>平成23年度は受講者の実態や意識についてアンケートを実施した。アンケートの結果を受講者に伝える事により「共に学び共に高まる」ことの大切さを再認識していただく機会とし、教室・講座への参加意義等について受講者に話しかけることを試み受講者の思いを知ることをこころがけた。また、長年同じ曜日の開講の教室については、講師の了承のもと曜日を変えて新規の受講生にも受講しやすいようにした。</p>
-------------------	--

(有識者意見)

有識者意見	<p>参加者が少ない講座については曜日や講師を変えて実施するべきである。複数講師の講座や、ボランティアの講座があっても良いのではないかと。</p>
-------	---

(方向性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(課題・有識者意見を踏まえての担当課意見、数値目標等)</small>	<p>生涯学習の気風を広め、参加者の相互交流を深め地域のつながりを高めるという目的のもとに大字の公民館を借用して事業を行っているので、大字公民館の利用状況等を踏まえて講座の見直し、講座曜日変更、新規講座開設等を検討していきたい。</p> <p>また受講生には、個人の技能を修得することにとどまらず、学習されたことを今度は自分が地域の人たちにも広めていくという風潮にもっていきたい。</p>	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	17
事務事業名	文化振興事業	担当課名	新庄・當麻文化会館
係 名	総務係・文化会館係	施 設 名	新庄・當麻文化会館

(計 画)

総合計画上の 位置付け	政策の柱	やさしさ・生きがい～心豊かな人が育ち、誰もが生きがいをもって過ごすまち～		
	政策目標	学校教育や生涯学習による心豊かな人づくり		
	施策目標	芸術文化活動やスポーツ活動などを活発にする		
事業の目的	市民に質の高い文化に触れる機会を設け、葛城市芸術文化を発信し、創出する。			
事業の内容	<p>魅力ある自主事業を展開することによって、新たな芸術、文化ファンを増やし、地域の文化水準の向上を目指す。</p> <p>毎年、コンサート、子ども劇場、お笑い劇場等の公演を実施している。また、市民参加・参画型事業として「ミュージックフェスティバル」や葛城市民劇団「風塾」「くすのき」等による演劇公演も実施する。</p>			
事業対象	市民及び近隣市町村の住民			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

		区 分		平成22年度決算	平成23年度決算	平成24年度予算	
事業コスト	事業費 ① (千円)	内一般財源(千円)		13,187	11,974	16,790	
		内国・県補助金(千円)		8,029	7,478	11,427	
		内受益者負担(千円)		0	0	0	
		内受益者負担(千円)		5,158	4,496	5,363	
		人件費 ② (千円)		6,392	6,163	6,163	
		総コスト①+②(千円)		19,579	18,137	22,953	
実績と 成 果	区 分	単 位		平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度(目標)	
		事業 実績	自主事業入場料	千円	5,158	4,496	5,363
			自主事業委託料等料	千円	13,187	11,974	16,790
	事業 成果	自主事業入場数	人	3,341	4,789	4,500	
		自主事業(有料)開催数	本	3	3	3	
		自主事業(無料)開催数	本	4	6	6	

(評価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分貢献している	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	B	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	市民参加・参画型のミュージックフェスティバル、市民劇団、アンサンブルウイズ等の公演事業は周知がかなり進み、市民が手軽に文化や芸術と触れあえる機会、自らが創造、発信するかけがえのない機会として大変有意義なものとなっている。			
事業の課題・問題点	有料の事業については、市民が興味や関心、期待感を持ち、満足していただける事業を実施することで、集客人員の増加が期待できる。アンケート等を実施し観客ニーズにあった公演等にしぼりこんで計画し満席にする方向を目指しているが、財政面から考えると、観客のニーズにあった自主事業でさえキャパシティの面で事業コストの課題が残るため、事業本来の目的と市民ニーズのかねあい等を十分に慎重に検討していきたい。今後の自主事業のあり方、新庄、當麻両文化会館自体の運営方針の再検討が課題である。			

評価を受けての改善点(過去3年間)	市民のニーズを把握するために、自主事業公演後に毎回アンケートを実施した。旬の人気アーティストが見たいという圧倒的な要望により一躍有名になった歌手を企画したが時期的なこともあってか思ったように集客できなかった。お笑いものについては開館以来毎年吉本新喜劇、寄席等の公演を行ってきたがここ数年は入場者数が思わしくないため、平成23年度は日曜日の昼の時間帯に初の試みで大衆芸能を試みたところ、大盛況であった。
-------------------	--

(有識者意見)

有識者意見	市民参加・参画型の公演も回を重ね、市民の文化発信の場として位置づいてきていると思う。ホールの座席数の関係もあり、市民のニーズに応じていく難しさもあるようだが、アンケート結果を反映した公演の実施を期待する。大型で集客力のある人気アーティストは無理でも、葛城市にあった公演を引続き模索してもらいたい。 有料・無料の問題は事業を重ねて経験をつんでいく必要がある。
-------	---

(方向性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(課題・有識者意見を踏まえての担当課意見、数値目標等)</small>	今後も観客ニーズを把握するためにアンケートを継続して実施していく。ただ芸術文化という採算性だけでは計れないはずの領域においてもなんらかの改革や見直しの必要性が高まってきており、事業本来の目的と観客ニーズの兼ね合い、事業コスト面での費用対効果は、今後も引き続き検討課題である。限られた予算、人員のなかで市民と協力して「継続的な取り組み」を行うことにより地域の交流の拠点としてホールも存続していきたい。	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	18
事務事業名	中央公民館（當麻文化会館）主催生涯学習	担当課名	中央公民館（當麻文化会館）
係 名	中央公民館係	施 設 名	中央公民館

(計 画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	やさしさ・生きがい～心豊かな人が育ち、誰もが生きがいをもって過ごすまち～		
	政策目標	学校教育や生涯学習による心豊かな人づくり		
	施策目標	必要な知識や能力を身につけられるようにする		
事業の目的	市民等の教育、学術、文化及び教育向上のため、「教室・講座」を開講して学習活動を支援するとともに、仲間づくりなど交流の機会を提供する。			
事業の内容	<p>『社会教育法』第20条(目的)、第22条(公民館の事業)ならびに『公民館の設置及び運営に関する基準』第3条(地域の学習拠点としての機能の発揮)に基づき、市民等の教育、学術、文化及び教養の向上のための「教室・講座」を開講して学習活動を支援するとともに、仲間づくりなど交流の機会を提供する。</p> <p>1. 中央公民館 7教室 [成人⑤：華道、きもの着付け等 子ども②：絵画、茶道] 16講座 [成人⑩：ガーデニング、暮らしのマナー等 子ども⑥：親子クッキング、親子お菓子・パンづくり、親子陶芸(土)(日)等]</p> <p>2. 當麻文化会館 17講座 [成人⑮：絵画、パソコン講座(入門等6コース)等 子ども②：寺子屋、親子おもしろ工作]</p>			
事業対象	市内在住者・在勤者			
事業年度	■	区分指定無	□	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

		区 分	平成22年度決算	平成23年度決算	平成24年度予算	
		事業コスト	事業費 ① (千円)		4,187	3,819
内一般財源(千円)			4,187	3,819	4,247	
内国・県補助金(千円)			0	0	0	
内受益者負担(千円)			0	0	0	
人件費 ② (千円)			12,351	9,962	9,962	
総コスト①+②(千円)			16,538	13,781	14,209	
実績と成果	区 分		単 位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度(目標)
	事業実績	講師謝金(中央公民館)	千円	2,824	2,358	2,709
		講師謝金(當麻文化会館)	千円	1,363	1,461	1,538
		講師謝金合計	千円	4,187	3,819	4,247
	事業成果	受講者数(中央公民館)	人	3,858	3,332	4,340
		受講者数(當麻文化会館)	人	2,144	2,408	2,710
		受講者数合計	人	6,002	5,740	7,050

(評価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分貢献している	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	B	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	成人・子ども・親子を対象に学習の機会を提供し、学習の促進とふれあいを図るため各種教室、講座を開催している。講座への関心や受講意識も強く、親子対象の講座やパソコン講座等、受講申込者数が定員を超えたため抽選となる講座も多くなる。 成人対象の華道・きもの着付け・茶道・書道・陶芸等伝統文化的な教室、趣味・教養の向上のための各種講座、親子のふれあいを深めるための親子クッキング・親子陶芸等講座、夏休みに子どもを対象に行う寺小屋・葛城塾・野外活動体験などの講座を開催し、充実した運営を目指している。			
事業の課題・問題点	受講料が無料(教材費等は受講者負担)であるため、少数ではあるが、安易に締切後に教室・講座を辞退される方があり、その場合は教材等の発注関係から、教材等の費用負担をお願いすることがある。 同じ教室や講座を続けて受講される方も多い。(定員を超える申込みがあり抽選となる場合は、新規の方を優先している。)			

評価を受けての改善点(過去3年間)	学びとふれあいを基本に、住民の方のニーズや教室・講座の受講者数も考慮しながら、教室・講座の開催運営の見直しを行っている。
-------------------	--

(有識者意見)

有識者意見	伝統的な教室や最近のニーズに応える教室などの開催により、市民の学習の場としての実績をあげていると思われる。今後も受講者数の動向や新しいニーズを把握し、教室・講座の開催を決定していただきたい。 事業の本質から必要経費以外の料金を徴収出来ないことになっているが、有料であっても内容が伴っていれば問題ないとする。 市職員から講師に対して若干遠慮があるようだが、講師の成績評価も大切である。よりよい講座とするため、講座の内容や実態についても審査が必要と思われる。
-------	---

(方向性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(課題・有識者意見を踏まえての担当課意見、数値目標等)</small>	今後も、各教室・講座の開催経過や現状をみつめながら、よりいっそう住民のニーズの把握に努め、市民の要望や地域の特性を活かした教室・講座を開催し、市民への「学び」と「ふれあい」の機会提供の充実を目指した運営を図っていきたい。 また、各教室・講座の受講料の有料化や講師評価の審査等を含めて、内容の見直しや検討も行っていきたい。	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	19
事務事業名	展示（常設展・特別展等）事業	担当課名	歴史博物館
係 名	歴史博物館	施 設 名	歴史博物館

(計 画)

総合計画上の 位置付け	政策の柱	愛着・快適～自然や歴史遺産の豊かさと住みよさが共存する、愛されるまち～		
	政策目標	歴史・文化の保全・継承と交流の促進		
	施策目標	歴史遺産をまもり、来訪者を増やす		
事業の目的	展示会を通じて地域の歴史文化を紹介し、市民が地域の伝統文化等に関心を高め、愛郷心が育まれるようにしたい。			
事業の内容	展示会（年間企画展3回・特別展1回）の開催、展示図録・目録等の発行。			
事業対象	市民等来館者			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

事業コスト	区 分		平成22年度決算	平成23年度決算	平成24年度予算	
	事業費 ① (千円)		2,885	3,631	3,729	
	内一般財源(千円)		2,497	3,257	3,475	
	内国・県補助金(千円)		0	0	0	
	内受益者負担(千円)		388	374	254	
	人件費 ② (千円)		10,587	10,587	10,587	
	総コスト①+②(千円)		13,472	14,218	14,316	
実績と 成 果	区 分		平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度(目標)	
	事業 実績	入館者数	人	4,564	4,942	4,500
	事業 成果					

(評価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分貢献している	<input type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	<p>B</p> <p>A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要</p>			
評価の説明	<p>葛城市広報や県広報、市内放送、市内各区の掲示板へのポスター掲示、新聞報道などを活用し、市民に対して特別展等の開催をお知らせしている。これにより郷土の歴史に対し関心を持つ市民等に、特別展等の開催内容について広く周知が出来ていると考えられる。入館者数においては、顕著な増加は無いが、年4回の特別展・企画展等の開催により増加傾向が見られることから、今後ともより一層効果的な周知方法を見出すべく検討を行い、一人でも多くの市民に入館していただけるようにしていく必要がある。</p>			
事業の課題・問題点	<p>特別展・企画展は例年通り年合計4回の開催を予定しているが、当館及び各所広告経費の予算削減により広告範囲が縮小気味となりつつあるため、催し物情報の発信範囲が狭まり、市民の隅々にまで届きにくい状態となってきている。このことから、経費のかからない新たな効果的広告手段の模索が必要となってきている。展示事業等の開催経費についても徐々に予算削減となっており、予算の効果的な運用努力を行うものの、公的博物館として社会教育の普及啓蒙を推進するうえにおいて、非常に厳しい状況である。</p>			

(有識者意見)

有識者意見	<p>予算削減により発信範囲が狭まっているのは残念である。社会教育の啓蒙を推進する事業としては、予算が厳しすぎるのではないかと。効果的な運用努力にも限界があると思われるため、必要経費について見直し検討していただきたい。</p> <p>児童生徒にとって故郷の文化財を享受するという重要な観点からも関係機関との折衝が必要だと思われる。</p>
-------	---

(方向性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(課題・有識者意見を踏まえての担当課意見、数値目標等)</small>	<p>市民の方々に当博物館の活動をもっと知っていただくため、市内・外に向けて、さらに効果的な広報活動の模索を続けたいと思う。そして、市民や児童生徒が地域の歴史・伝統文化に関心と親しみを持ち、郷土を愛する心を育むための事業展開を実施したいと考える。</p> <p>なお、博物館普及活動と活動内容の発信の為に経費や施設の維持管理経費に対しても、その必要性を訴え、予算要望してまいりたい。</p>	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	20
事務事業名	歴史講座開催事業	担当課名	歴史博物館
係 名	歴史博物館	施 設 名	歴史博物館

(計 画)

総合計画上の 位置付け	政策の柱	愛着・快適～自然や歴史遺産の豊かさと住みよさが共存する、愛されるまち～			
	政策目標	歴史・文化の保全・継承と交流の促進			
	施策目標	歴史遺産をまもり、来訪者を増やす			
事業の目的	歴史講座等を通じて地域の歴史文化を紹介し、市民が地域の伝統文化等に関心を高め、愛郷心が育まれるようにしたい。				
事業の内容	葛城地域の歴史文化や新しい歴史研究の成果についてわかりやすく詳しく紹介し、市民の愛郷心を育むことを目標に、歴史文化講演会「葛城学へのいざない」を開催する（年間12回）。 また、夏季には高学年児童を対象に土器等を制作体験する親子ふれあい講座、秋には市内にて歴史ウォークを開催する。				
事業対象	市民等来館者				
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/> 区分指定無	<input type="checkbox"/> 平成	～	平成	間

(実施内容)

		区 分	平成22年度決算	平成23年度決算	平成24年度予算	
		事業コスト	事業費 ① (千円)		290	290
内一般財源(千円)			290	290	320	
内国・県補助金(千円)			0	0	0	
内受益者負担(千円)			0	0	0	
人件費 ② (千円)			950	950	950	
総コスト①+②(千円)			1,240	1,240	1,270	
実績と 成 果	区 分	単 位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度(目標)	
	事業 実績	参加者数	人	1,227	1,292	1,300
	事業 成果					

(評価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分貢献している	<input type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	B	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	葛城市広報や市内放送、新聞報道などを利用し、市民に対して歴史講座等の開催をお知らせしている。これにより郷土史に関心を示す市民等に歴史講座の開催内容が周知出来ていると考えられる。また、当事業の講座は毎回平均100名程度の参加者を得ており、参加者からの意見では内容についても好評である。今後はより一層効果的な周知方法や講座内容について検討し、一人でも多くの市民に受講していただけるようにしていく必要がある。			
事業の課題・問題点	例年通り年合計12回の歴史文化講座「葛城学へのいざない」の開催を予定しているが、葛城地域にまつわる歴史文化をテーマとしていることから話題も限られるため、講座内容がマンネリ化とならぬよう十分に検討し、もっと多くの市民に訪れてもらい郷土の歴史文化への正しい理解を深めて頂きたい。郷土への愛郷心を深めて頂く普及講座として長く継続していくことが課題である。 問題点としては、講師への謝金に対しても予算削減を求められる状態にある中で、充実した講座を維持していくことがより困難となってきている。			

(有識者意見)

有識者意見	限られた予算のなかで、よく工夫して事業実施されていることが伺える。充実した講座の維持が困難とのことであるため、実施されている事業が継続できるよう予算の見直し・検討をお願いしたい。地元や近郊で、新たな講師を見つけることも必要だと考える。
-------	---

(方向性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(課題・有識者意見を踏まえての担当課意見、数値目標等)</small>	先人により築かれ、守り継がれてきた大切な葛城市の歴史文化遺産が今後も保全・継承されるよう、郷土に関する歴史事象や伝統文化などに焦点をあてた講座等の開催を継続してまいりたい。また、地元や近郊で新たな講師を見つけ、各地域の歴史文化情報を紹介するなど、広くその情報発信に努め、市民が地域の伝統文化等に関心を深め、葛城市への郷土愛がさらに高まるよう普及活動を実施していきたいと思う。 また、予算面についても、その必要性を訴え予算確保すべく要望していきたい。	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	21
事務事業名	埋蔵文化財等調査事業	担当課名	教育総務課・歴史博物館
係 名	文化財係・歴史博物館	施 設 名	教育総務課・歴史博物館

(計 画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	愛着・快適～自然や歴史遺産の豊かさと住みよさが共存する、愛されるまち～		
	政策目標	歴史・文化の保全・継承と交流の促進		
	施策目標	歴史遺産をまもり、来訪者を増やす		
事業の目的	市内地域の埋蔵文化財の保護。			
事業の内容	市内遺跡内で工事が行われるに際し、提出される発掘届出書を県教委へ進達する。それについて県教委から出される指導事項に従い、市の担当職員が現場にて発掘調査や現場立会等を実施し、調査結果報告書を作成し、県教委へ提出する。また、市内遺跡の範囲確認等のため発掘等の調査を実施し、国・県へ報告する。			
事業対象	一般事業者・市民			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

事業コスト	区 分		平成22年度決算	平成23年度決算	平成24年度予算	
	事業費 ① (千円)		2,000	2,000	2,000	
	内一般財源(千円)		500	500	500	
	内国・県補助金(千円)		1,500	1,500	1,500	
	内受益者負担(千円)		0	0	0	
	人件費 ② (千円)		3,352	3,352	3,352	
	総コスト①+②(千円)		5,352	5,352	5,352	
実績と成果	区 分		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度(目標)
	事業実績	調査事業	件	3	4	5
		立会等	件	12	7	10
	事業成果					

(評価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分貢献している	<input type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	B	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	合併に伴い葛城市になったことで、埋蔵文化財包蔵地エリアも増大した。また、当該エリア内における開発件数も共に増加していることから、調査事業も人員的に困難ではあるが、他事業との兼ね合い調整の結果、着実に実施し成果を上げている。			
事業の課題・問題点	合併に伴い葛城市になったことで、埋蔵文化財包蔵地エリアも増大し、当該エリア内における開発件数も共に増加している。また、分譲住宅開発等土地開発事業が増加傾向にある中で、現場対応できる技術職員配置体制が1名と、旧町体制レベルであり、更に博物館業務と兼務であることから、博物館事業との兼ね合いに多くの困難を呈する状況である。埋蔵文化財を主担当とする職員が、文化財を有する他の県内市町村なみに配置出来ていないことに問題と課題がある。については今後、文化財係の中に文化財行政業務に対応できる専門技術職員の配置をする必要がある。			

(有識者意見)

有識者意見	専門技術職員の配置が現在一名で文化財行政業務に対応している現状は負担が大きいと思われる。旧當麻町時代には「花と文化財の里」と銘打ってきた市町村としては少し寂しい現状である。関係機関と協議を重ね職員の確保にご尽力いただきたい。
-------	--

(方向性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(課題・有識者意見を踏まえての担当課意見、数値目標等)</small>	本市における埋蔵文化財の調査・発掘・保存の業務については、将来のまちづくりに欠かせない事業である。財政並びに人事的に困難な面も伴うが、関係機関と十分に連携をとりながら計画的かつ円滑に事業が実施できるよう努めたい。 また、業務の円滑化を進める上で、関係職員の増員についても要望していきたい。	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	22
事務事業名	文化財保存事業	担当課名	教育総務課・歴史博物館
係 名	文化財係・歴史博物館	施 設 名	教育総務課・歴史博物館

(計 画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	愛着・快適～自然や歴史遺産の豊かさと住みよさが共存する、愛されるまち～		
	政策目標	歴史・文化の保全・継承と交流の促進		
	施策目標	歴史遺産をまもり、来訪者を増やす		
事業の目的	市内における国宝等指定文化財の保存事業。			
事業の内容	市内にある歴史遺産（国宝・重要文化財等）保存のため、文化財所有者等が行う保存修理などの「文化財保存事業」が実施されるにあたり、市内の歴史文化を保全・継承していく為に国・県と共に葛城市も事業助成を行った。平成23年度は重要文化財当麻奥院本堂・方丈保存修理及び当麻寺仁王門屋根改修事業ほか6件の保存事業が所有者等により実施され、その事業助成を実施した。			
事業対象	市内の国宝等指定文化財所有者			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

事業コスト	区 分		平成22年度決算	平成23年度決算	平成24年度予算	
	事業費 ① (千円)		156,962	194,810	148,723	
	内一般財源(千円)		8,060	14,263	6,741	
	内国・県補助金(千円)		122,340	140,388	113,342	
	内受益者負担(千円)		26,562	40,159	28,640	
	人件費 ② (千円)		1,089	1,089	1,089	
	総コスト①+②(千円)		158,051	195,899	149,812	
実績と成果	区 分		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度(目標)
	事業実績	市内重要文化財等	件	8	8	7
	事業成果					

(評価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分貢献している	<input type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	A	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	<p>長い間守り伝えられてきた文化財は日本の伝統文化を今に伝え、また未来へ伝える必要のある大切なものである。しかし、文化財の多くは長年の経過により本体が脆弱で定期的な保存修理等が必要である。市内の重要文化財等のうち、保存修理が急がれる當麻曼荼羅図や奥院本堂・方丈の保存修理、當麻寺仁王門屋根改修等保存事業が行われている。歴史遺産を守ることを市の重要施策目標とするうえで、文化財保存の為の事業に対し今後とも事業助成の必要がある。</p>			
事業の課題・問題点	<p>文化財は日本の地域伝統文化を今に伝え、また未来へ引き継ぐべき大切なものであることをふまえ、歴史遺産の保護を市の重要施策目標とするうえにおいて事業助成は必要である。ただ、文化財の保存に要する経費は決して低くないことから、文化財所有者にとっても、また助成する市にとっても、厳しい財政状態の中で決して容易な負担額ではない。しかし、財政的に困難であっても文化財保存を市の重要な施策とし、今後も国・県・所有者とともに継続して取り組む必要があり、当面はその予算確保が課題である。</p>			

(有識者意見)

有識者意見	<p>文化財保存事業を計画的に実施するために事業助成は引続き必要である。予算確保に苦渋されていることがよく伺える。事業の意義を周知できるよう更なる努力を期待する。</p>
-------	---

(方向性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(課題・有識者意見を踏まえての担当課意見、数値目標等)</small>	<p>市民の財産である歴史遺産の保存は、国のみならず奈良県や本市の責務である。今後も関係機関と連携しながら適正な保存事業が行われるように細心の配慮を行うと共に、文化財保存の為の事業助成については、国・県ともに連携のもと、財政状況も勘案のうえ可能なかぎり計画的かつ適正に実施できるよう努めたい。</p> <p>また、市民に対し文化財保護の重要性を啓発することに努め、財政負担についてもご理解頂けるように努力したい。</p>	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	23
事務事業名	各種教室開催事業	担当課名	体育振興課
係 名	体育振興係	施 設 名	

(計 画)

総合計画上の 位置付け	政策の柱	やさしさ・生きがい～心豊かな人が育ち、誰もが生きがいをもって過ごすまち～		
	政策目標	学校教育や生涯学習による心豊かな人づくり		
	施策目標	芸術文化活動やスポーツ活動などを活発にする		
事業の目的	市民に教室等を紹介し、スポーツに親しむ機会を提供して健康増進を図る。			
事業の内容	<p>在住・在勤者を対象に、スポーツに親しんでいただくきっかけづくりのため各教室を開催する。幅広い年齢層のスポーツニーズおよび教室の実施対象者のニーズを把握し、できるだけ多くの方の参加を目指す（初心者優先）。</p> <p>年齢や生活環境に適した幅広い市民のスポーツ人口の増加推進に努める。また、親子テニス教室や親子体操教室のように親子でふれあえる教室のニーズが高まっているので、さらに充実していく。</p>			
事業対象	教室・講座受講者（市内在住・在勤者）			
事業年度	■	区分指定無	□	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

		区 分	平成 22 年度決算	平成 23 年度決算	平成 24 年度予算	
		事業コスト	事業費 ① (千円)		1,512	1,540
内一般財源(千円)			1,512	1,540	1,722	
内国・県補助金(千円)			0	0	0	
内受益者負担(千円)			0	0	0	
人件費 ② (千円)			2,782	2,627	2,627	
総コスト①+②(千円)			4,294	4,167	4,349	
実績と 成 果	区 分	単 位	平成 22 年度実績	平成 23 年度実績	平成 24 年度(目標)	
	事業 実績	小学生	千円	560	560	574
		一般	千円	560	560	560
		親子教室	千円	392	420	588
	事業 成果	小学生	人	97	119	110
		一般	人	79	71	75
		親子教室	組	50	40	30

(評価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分貢献している	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	B	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	親子対象の教室やサッカー教室は人気があり、親子のふれあい並びに健康増進に役立っていると思われる。 今後、さらに市民のニーズに応じて体力づくり・健康増進に繋がる事業としていきたい。			
事業の課題・問題点	教室生とクラブ員とを区別できるように、教室生は初心者のみ参加となるよう説明努力の必要がある。			

評価を受けての改善点(過去3年間)	平成24年度からテニス教室の人気により、新庄地区(屋敷山テニスコート)でジュニアテニス教室をはじめた。
-------------------	---

(有識者意見)

有識者意見	長く続けられている事業であるが、内容はかなり変化していると思われる。 幅広い年齢層の受講者がスポーツに親しみ、体力づくりに取り組める事業なので、多くの市民が参加できるような教室を開催して欲しい。 教室では本当の初心者を引き出すことが重要である。講師は慣れている受講者・積極的受講者に目を向けてしまいがちだが、途中で落ちこぼれないよう初心者や休みがちな受講者にこそ配慮することが大切である。 子どもたちの体力低下が課題となっている中で、小学生の参加人数が増えているのは喜ばしいことである。親子で参加できる教室を充実された結果であると思われる。 一般競技においては教室終了後はクラブに誘導し、市全体のスポーツ活性化につなげていただきたい。
-------	---

(方向性)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(課題・有識者意見を踏まえての担当課意見、数値目標等)</small>	子どもから高齢者まで幅広く参加できる教室を開催し、スポーツに親しむことで市民の健康増進・体力向上に寄与するためにメニュー、内容等を精査して継続していきたい。	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	24
事務事業名	各種スポーツ大会等開催事業	担当課名	体育振興課
係 名	体育振興係	施 設 名	

(計 画)

総合計画上の 位置付け	政策の柱	やさしさ・生きがい～心豊かな人が育ち、誰もが生きがいをもって過ごすまち～		
	政策目標	学校教育や生涯学習による心豊かな人づくり		
	施策目標	芸術文化活動やスポーツ活動などを活発にする		
事業の目的	各種スポーツ大会等を企画し市民の参加を促す。			
事業の内容	<p>市民が積極的に参加できる各種大会の開催や後援などを通してスポーツの振興を図り、健康・体力づくりを支援する。市体育協会及び加盟団体とともにスポーツへの関心を高め、生涯スポーツの振興と体力・健康づくり及び技術の向上を図る。</p> <p>市民体育祭をはじめとする各種のスポーツ・レクリエーション大会等の行事については、参加及び実践意欲の向上をかんがみて内容等を検討し、さらに多くの市民がスポーツに親しむように努める。</p>			
事業対象	大会参加者（市内在住・在勤者）			
事業年度	■	区分指定無	□	平成 ~ 平成 間

(実施内容)

		区 分	平成 22 年度決算	平成 23 年度決算	平成 24 年度予算	
		事業コスト	事業費 ① (千円)		4,548	4,548
内一般財源(千円)			4,548	4,548	4,548	
内国・県補助金(千円)			0	0	0	
内受益者負担(千円)			0	0	0	
人件費 ② (千円)			6,127	5,286	5,266	
総コスト①+②(千円)			10,675	9,834	9,814	
実績と 成 果	区 分	単 位	平成 22 年度実績	平成 23 年度実績	平成 24 年度(目標)	
	事業 実績	大会事業費	千円	4,548	4,548	4,548
	事業 成果	大会参加者数	人	9,877	9,848	10,000

(評価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分貢献している	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	B	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	参加者数は横ばい状態であるが、今後新しいメニューも取り入れて、ローコストでハイリターンの大会運営を目指していく。			
事業の課題・問題点	平成16年10月に旧當麻町と旧新庄町が合併して以降、大会メニューがほとんど変わっていないので、新しい大会を考える時期にあると思われる。			

(有識者意見)

有識者意見	<p>事業のマンネリ化をいかに回避できるか、職員の数等で課題は多いが新しい大会の開催が望まれる。</p> <p>大会プログラムのマンネリ化は運営の課題であるが、市民にとっては各スポーツ大会が位置づいていて、開催を心待ちにしている人もいると思われる。過去何年かのプログラム別の参加者数の統計を取り、検討することが必要ではないか。</p> <p>いかに新しい人に参加していただくかという点に問題がある。</p>
-------	---

(方向性)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(課題・有識者意見を踏まえての担当課意見、数値目標等)</small>	事業のマンネリ化を解消するために、さまざまな分野からの意見を取り入れ少しでも多くの市民に参加いただきたい。平成24年度はオリンピック開催年であり、より一層スポーツに関心を寄せていただくきっかけになるような大会を開催することが社会体育所管課の使命であると考えている。	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	25
事務事業名	体育施設の運営事業	担当課名	体育振興課
係 名	体育振興係	施設名	

(計 画)

総合計画上の 位置付け	政策の柱	やさしさ・生きがい～心豊かな人が育ち、誰もが生きがいをもって過ごすまち～		
	政策目標	学校教育や生涯学習による心豊かな人づくり		
	施策目標	芸術文化活動やスポーツ活動などを活発にする		
事業の目的	体育施設の安全で効率的な管理および運営			
事業の内容	体育館 4カ所 当麻スポーツセンター体育館、市民体育館、新庄スポーツセンター体育館、いきがい体育館 運動場 4カ所 当麻健民運動場、新庄第1健民運動場、新庄第2健民運動場、新町球技場 テニスコート 3ヶ所 当麻スポーツセンターテニスコート、新町公園テニスコート、屋敷山公園テニスコート プール 2ヶ所 新庄、当麻両スポーツセンタープール 上記体育施設の維持管理・運営を職員3名、嘱託2名、アルバイト2名で行っている。			
事業対象	施設利用者（市内在住・在勤者）			
事業年度	■	区分指定無	□	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

		区 分	平成22年度決算	平成23年度決算	平成24年度予算	
		事業コスト	事業費 ① (千円)		28,174	37,775
内一般財源(千円)			26,388	36,355	30,723	
内国・県補助金(千円)			0	0	0	
内受益者負担(千円)			1,786	1,430	1,463	
人件費 ② (千円)			5,156	5,156	5,156	
総コスト①+②(千円)			33,330	42,931	37,342	
実績と 成果	区 分		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度(目標)
	事業 実績	施設管理費	千円	28,174	37,775	32,186
		内修繕、工事費	千円	3,167	14,589	6,998
	事業 成果	施設利用者	人	172,617	172,721	173,000

(評 価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分貢献している	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	B	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	<p>安全かつ快適に施設をご利用いただくために、点検・改修を行っている。平成23年度は新町球技場の防球ネット設置及び当麻スポーツセンタープール改修等を実施した。平成24年度は夜間照明の改修等を実施予定している。</p> <p>施設の改修とともに利用者に使用上のマナーアップを呼びかけ、みなさんが快適に利用できるよう努力を続ける。</p>			
事業の課題・問題点	<p>施設の老朽化に伴い、修理費が高むため予算獲得に苦勞する。</p> <p>また、利用者のマナーアップ意識を高めて施設、器具を大切にご使用いただきたい。</p>			

(有識者意見)

有識者意見	<p>老朽化に伴う危険箇所の点検・修理・改修を計画的に実施し、安心して使用できる施設として維持管理して欲しい。</p> <p>職員の人員不足は問題である。児童生徒のみならず一般利用者の安心安全を確保するという観点からも施設に応じた人員を配置願いたい。</p>
-------	---

(方向性)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(課題・有識者意見を踏まえての担当課意見、数値目標等)</small>	<p>施設の老朽化に対する対応と人員配置を総合的に考え直す抜本的な構造改革を必要とする時期であると考えている。</p> <p>施設管理全体を見据えて指定管理制度を含めた合理的な行政改革を真剣に考えるべきであると考えている。</p>	

6. 点検及び評価のまとめ

教育に関する事務の点検及び評価報告書（各事業評価シート）について、教育委員会より以下の意見を受けました。

（1）各事業に対する意見について

事業No. 1 小・中学校地震補強・大規模改造工事

有識者のご意見にもあるとおり、学校は緊急避難所として使用される可能性があるため、避難場所として必要だと思われる設備（例えば夜間の照明や発電設備、貯水施設など）を耐震工事の時に設置できないか。

事業No. 2 相談（来室・訪問）事業・研修支援

有識者のご意見にもあるが相談スペースの確保・整備が課題である。電話相談や来室相談はプライバシー保護の観点からも他の施設の有効活用及び施設改修等至急実施されたい。

事業No. 3 適応指導教室

教科指導における学校との連携の可能性を探る必要がある。

また、適応指導教室卒業後の高校進学率は100%であるとのことだが、進学先の学校に適応できているかどうかの追跡調査が必要ではないか。

事業No. 4 スクールカウンセラー（SC）

一定の成果があがっている。今後ますます必要度が増すと見込まれることから、一層の体制づくりが求められる。

事業No. 5 学校給食事業

アレルギー対応、地産地消の拡大などは給食センター新築に合わせ改善・充実することが求められる。

事業No. 9 公園まつり実行委員会業務

開催日について、期日を固定にしておくのが良いと考える。

事業No. 10 成人式

運営・内容等、他市と比較しても誇れる式典・成人行事であると考えている。自分たちで作る成人式として成人に相応しい意義のあるイベントとなっている。

新成人が全てを計画・立案するのは難しいため、それをサポートする事務局側にも苦労があると思うが、将来の「葛城市」を考えた場合、大変有意義な人材育成の場となっている。続けていく価値は十分にあり、該当者の参加率も高いレベルにあると思われる。

事業No. 11 生涯学習人材バンク業務

登録しておられる方の指導分野に偏りがあるので、もっと様々な分野の人材を募集できないものか。

学校・地域連携事業と関連づけるなど、人材の拡充とともに活動の充実を図る方途の検討が必要である。

事業No. 13 分館モデル地区

地域の活性化、地域住民のつながりの深化が求められる中、本事業の重要性はますます高まるところであり、より充実した取組が期待される。

事業No. 14 生涯学習まちづくり推進大会

正に、まちづくり推進を啓発する絶好の機会である。

子どもから高齢者まで、様々な方が生涯学習に臨む姿を紹介していくことが大切である。

事業No. 15 子ども・若者育成支援事業

本事業の充実は社会的・時代的要請であり、市行政関係部局一体となった取組の構築を期待したい。

また、青少年センターを設置し、本事業とともに事業No. 2 相談（来室・訪問）事業・研修支援および事業No. 12 青少年健全育成についても一括で実施できないものか。

事業No. 16 地区館教室・講座事業

地区館教室の趣旨を広く地域住民にご理解いただき、多くの方の関心を高め、参加者を募っていただきたい。

事業No. 18 中央公民館（當麻文化会館）主催生涯学習事業

講座・教室の廃止、新設については意向・意識調査及び関係者との相談・協議を十分に行っていく必要がある。

事業No. 20 歴史講座開催事業

現地説明・案内などの開催回数も考慮してはどうか。

事業No. 21 埋蔵文化財等調査事業

専門職員の増員及び予算要望について再度吟味していただきたい。

事業No. 22 文化財保存事業

葛城市にはあまり知られていないが重要な文化遺産が多くあり、文化財の保存は地域住民の理解なくして成しえない。例えば市広報に専門家による文化財の解説を掲載する等、それらを広く知ってもらうことが重要である。

また、あわせて葛城市への来訪者を増やすためにも現地案内標識・説明版の設置についても充実していただきたい。

ただ、これらのことを成すためにも専門職員の増員が強く望まれる。

事業No. 25 体育施設の運営事業

老朽化に対しては早急な対応が求められる。老朽化の結果として事故が起こることは絶対に避けなければならないため、施設の老朽化により利用者に被害等を及ぼす可能性のある場合は、予算措置も含めた改善の処置を早急に行うべきである。

(2) 総評

各事業の取組については、前年度までの進捗状況を鑑み、その成果と課題を事務局・担当課が真摯に受け止め、葛城市の都市像を目指して一定の成果をあげることができたと考える。

事業を展開していく上で客観的な評価を確保するため、長年に渡って点検・評価に関する有識者から2人の的確なご意見をいただいたことに深く感謝申し上げます。本年度より新しく代わられた点検・評価に関する有識者の方々にも、事業に対する評価だけでなく幅広い見地から示唆に富む有益なご意見をいただいた。今後ともよろしくお願い申し上げます。

また、この評価シートは次年度に向けての方向性を見出すのに大切な資料となる。財政が逼迫している状況の中、効率的に成果があげられるよう積極的に事業の統合を図るとともに、市民と協働による行政運営のさらなる推進やボランティアの多様な活用を図り、一層充実した事業の展開を期待する。

平成24年9月1日

葛 城 市 教 育 委 員 会
委 員 長 和 田 治